

0001 発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「眼胞は前脳、とくに間脳領域の神経外胚葉が外側へ突出して形成される。」

ア．眼胞の発生母地

イ．胎生期血管の退縮と成人構造

ウ．眼杯裂閉鎖異常と先天異常

エ．神経堤細胞の眼組織への寄与

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「眼胞の発生母地」の要点を示している。眼胞は前脳、とくに間脳領域の神経外胚葉が外側へ突出して形成される。

イ：「胎生期血管の退縮と成人構造」は別の論点である。主な要点は「胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「神経堤細胞の眼組織への寄与」は別の論点である。主な要点は「角膜実質・角膜内皮・強膜などは、眼周囲へ移動した神経堤系の間葉細胞が主要な形成に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0002 発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「眼胞が表面外胚葉を誘導して水晶体板を形成し、水晶体胞を経て水晶体となる。」

ア．眼杯裂閉鎖異常と先天異常

イ．神経堤細胞の眼組織への寄与

ウ．水晶体の発生由来

エ．胎生期血管の退縮と成人構造

答え・解説 正答：ウ

ア：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「神経堤細胞の眼組織への寄与」は別の論点である。主な要点は「角膜実質・角膜内皮・強膜などは、眼周囲へ移動した神経堤系の間葉細胞が主要な形成に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「水晶体の発生由来」の要点を示している。眼胞が表面外胚葉を誘導して水晶体板を形成し、水晶体胞を経て水晶体となる。

エ：「胎生期血管の退縮と成人構造」は別の論点である。主な要点は「胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0003

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：基礎

「眼の発生」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「眼杯の内層は神経網膜へ、外層は網膜色素上皮へ分化する。」

ア．胎生期血管の退縮と成人構造

イ．水晶体の発生由来

ウ．眼杯二層の分化

エ．虹彩筋の特殊な発生由来

答え・解説

正答：ウ

ア：「胎生期血管の退縮と成人構造」は別の論点である。主な要点は「胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「水晶体の発生由来」は別の論点である。主な要点は「眼泡が表面外胚葉を誘導して水晶体板を形成し、水晶体胞を経て水晶体となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「眼杯二層の分化」の要点を示している。眼杯の内層は神経網膜へ、外層は網膜色素上皮へ分化する。

エ：「虹彩筋の特殊な発生由来」は別の論点である。主な要点は「虹彩の括約筋・散大筋は平滑筋であるが、一般的な平滑筋と異なり眼杯の神経外胚葉に由来する特殊な例である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0004

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「網膜神経節細胞の軸索が眼茎内へ進入し、眼茎が視神経へ変化する。網膜神経節細胞の軸索が眼茎内を走行するようになり、眼茎の腔は失われて視神経となる。」

ア．眼杯裂閉鎖異常と先天異常

イ．胎生期血管の退縮と成人構造

ウ．眼杯二層の分化

エ．視神経の発生過程

答え・解説

正答：エ

ア：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「胎生期血管の退縮と成人構造」は別の論点である。主な要点は「胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼杯二層の分化」は別の論点である。主な要点は「眼杯の内層は神経網膜へ、外層は網膜色素上皮へ分化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視神経の発生過程」の要点を示している。網膜神経節細胞の軸索が眼茎内へ進入し、眼茎が視神経へ変化する。網膜神経節細胞の軸索が眼茎内を走行するようになり、眼茎の腔は失われて視神経となる。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0005

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「角膜実質・角膜内皮・強膜などは、眼周囲へ移動した神経堤系の間葉細胞が主要な形成に関与する。」

ア．眼発生に関与する転写因子の意義
イ．神経堤細胞の眼組織への寄与
ウ．眼杯裂閉鎖異常と先天異常
エ．虹彩筋の特殊な発生由来

0006

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」

ア．水晶体の発生由来
イ．眼杯裂閉鎖異常と先天異常
ウ．視神経の発生過程
エ．虹彩筋の特殊な発生由来

答え・解説

正答：イ

ア：「眼発生に関与する転写因子の意義」は別の論点である。主な要点は「PAX6は眼の形成に広く関わる転写因子で、眼胞の形成や複数の眼組織の分化に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「神経堤細胞の眼組織への寄与」の要点を示している。角膜実質・角膜内皮・強膜などは、眼周囲へ移動した神経堤系の間葉細胞が主要な形成に関与する。
ウ：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「虹彩筋の特殊な発生由来」は別の論点である。主な要点は「虹彩の括約筋・散大筋は平滑筋であるが、一般的な平滑筋と異なり眼杯の神経外胚葉に由来する特殊な例である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「水晶体の発生由来」は別の論点である。主な要点は「眼胞が表面外胚葉を誘導して水晶体板を形成し、水晶体胞を経て水晶体となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」の要点を示している。眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。
ウ：「視神経の発生過程」は別の論点である。主な要点は「網膜神経節細胞の軸索が眼莖内を走行するようになり、眼莖の腔は失われて視神経となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「虹彩筋の特殊な発生由来」は別の論点である。主な要点は「虹彩の括約筋・散大筋は平滑筋であるが、一般的な平滑筋と異なり眼杯の神経外胚葉に由来する特殊な例である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0007

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。」

ア．胎生期血管の退縮と成人構造

イ．眼杯裂閉鎖異常と先天異常

ウ．神経堤細胞の眼組織への寄与

エ．水晶体の発生由来

0008

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「いずれも眼杯由来の神経外胚葉から分化する。虹彩の括約筋・散大筋は平滑筋であるが、一般的な平滑筋と異なり眼杯の神経外胚葉に由来する特殊な例である。」

ア．眼杯裂閉鎖異常と先天異常

イ．虹彩筋の特殊な発生由来

ウ．神経堤細胞の眼組織への寄与

エ．胎生期血管の退縮と成人構造

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「胎生期血管の退縮と成人構造」の要点を示している。胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。
イ：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「神経堤細胞の眼組織への寄与」は別の論点である。主な要点は「角膜実質・角膜内皮・強膜などは、眼周囲へ移動した神経堤系の間葉細胞が主要な形成に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「水晶体の発生由来」は別の論点である。主な要点は「眼胞が表面外胚葉を誘導して水晶体板を形成し、水晶体胞を経て水晶体となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「虹彩筋の特殊な発生由来」の要点を示している。いずれも眼杯由来の神経外胚葉から分化する。虹彩の括約筋・散大筋は平滑筋であるが、一般的な平滑筋と異なり眼杯の神経外胚葉に由来する特殊な例である。
ウ：「神経堤細胞の眼組織への寄与」は別の論点である。主な要点は「角膜実質・角膜内皮・強膜などは、眼周囲へ移動した神経堤系の間葉細胞が主要な形成に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「胎生期血管の退縮と成人構造」は別の論点である。主な要点は「胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0009

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「角膜上皮は表面外胚葉由来で、実質と内皮は主に神経堤由来の間葉細胞が形成する。」

ア．眼杯裂閉鎖異常と先天異常

イ．角膜各層の発生由来を比較

ウ．胎生期血管の退縮と成人構造

エ．眼発生に関与する転写因子の意義

0010

発生・細胞・遺伝 > 眼の発生 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「PAX6は眼の形成に広く関わる転写因子で、眼胞の形成や複数の眼組織の分化に重要である。」

ア．眼杯裂閉鎖異常と先天異常

イ．神経堤細胞の眼組織への寄与

ウ．眼発生に関与する転写因子の意義

エ．角膜各層の発生由来を比較

答え・解説

正答：イ

ア：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「角膜各層の発生由来を比較」の要点を示している。角膜上皮は表面外胚葉由来で、実質と内皮は主に神経堤由来の間葉細胞が形成する。

ウ：「胎生期血管の退縮と成人構造」は別の論点である。主な要点は「胎生期に水晶体などへ血流を供給する硝子体動脈は、その遠位部が通常退縮し、近位部は網膜中心動脈系に連続する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「眼発生に関与する転写因子の意義」は別の論点である。主な要点は「PAX6は眼の形成に広く関わる転写因子で、眼胞の形成や複数の眼組織の分化に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「眼杯裂閉鎖異常と先天異常」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂の閉鎖不全により、虹彩・脈絡膜・網膜などに欠損を生じるコロボーマが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「神経堤細胞の眼組織への寄与」は別の論点である。主な要点は「角膜実質・角膜内皮・強膜などは、眼周囲へ移動した神経堤系の間葉細胞が主要な形成に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「眼発生に関与する転写因子の意義」の要点を示している。PAX6は眼の形成に広く関わる転写因子で、眼胞の形成や複数の眼組織の分化に重要である。

エ：「角膜各層の発生由来を比較」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮は表面外胚葉由来で、実質と内皮は主に神経堤由来の間葉細胞が形成する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の発生」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0011

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：基礎

「細胞・組織の構造と機能」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「細胞膜は細胞内外の境界を形成し、膜蛋白や脂質二重層を介して物質移動や情報伝達を選択的に調節する。」

ア．細胞膜の基本機能

イ．核と核小体の役割

ウ．リソソームの役割

エ．細胞分裂における中心体・微小管の役割

0012

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「酸化的リン酸化などを通じてATP産生に関与する。ミトコンドリアは細胞呼吸と酸化的リン酸化の中心で、ATP産生に重要である。」

ア．ミトコンドリアの機能

イ．4基本組織を分類

ウ．細胞分裂における中心体・微小管の役割

エ．蛋白合成と細胞内輸送の流れ

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「細胞膜の基本機能」の要点を示している。細胞膜は細胞内外の境界を形成し、膜蛋白や脂質二重層を介して物質移動や情報伝達を選択的に調節する。

イ：「核と核小体の役割」は別の論点である。主な要点は「核小体はrRNAの転写やリボソームサブユニット形成に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「リソソームの役割」は別の論点である。主な要点は「リソソームは酸性加水分解酵素を含み、取り込まれた物質や不要な細胞内成分の分解に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「細胞分裂における中心体・微小管の役割」は別の論点である。主な要点は「紡錘体微小管は染色体の動原体などと相互作用し、娘細胞への染色体分配に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「ミトコンドリアの機能」の要点を示している。酸化的リン酸化などを通じてATP産生に関与する。ミトコンドリアは細胞呼吸と酸化的リン酸化の中心で、ATP産生に重要である。

イ：「4基本組織を分類」は別の論点である。主な要点は「基本組織は上皮組織、結合（支持）組織、筋組織、神経組織の4群である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「細胞分裂における中心体・微小管の役割」は別の論点である。主な要点は「紡錘体微小管は染色体の動原体などと相互作用し、娘細胞への染色体分配に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「蛋白合成と細胞内輸送の流れ」は別の論点である。主な要点は「分泌蛋白は粗面小胞体上のリボソームで合成され、Golgi装置で修飾・選別後、分泌小胞を経て細胞外へ放出される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0013

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「基本組織は上皮組織、結合（支持）組織、筋組織、神経組織の4群である。」

ア．蛋白合成と細胞内輸送の流れ
イ．リソソームの役割
ウ．核と核小体の役割
エ．4基本組織を分類

0014

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「核小体はrRNAの転写やリボソームサブユニット形成に重要である。」

ア．4基本組織を分類
イ．結合組織の基本構成
ウ．細胞骨格の機能を統合して説明
エ．核と核小体の役割

答え・解説

正答：エ

ア：「蛋白合成と細胞内輸送の流れ」は別の論点である。主な要点は「分泌蛋白は粗面小胞体上のリボソームで合成され、Golgi装置で修飾・選別後、分泌小胞を経て細胞外へ放出される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「リソソームの役割」は別の論点である。主な要点は「リソソームは酸性加水分解酵素を含み、取り込まれた物質や不要な細胞内成分の分解に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「核と核小体の役割」は別の論点である。主な要点は「核小体はrRNAの転写やリボソームサブユニット形成に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「4基本組織を分類」の要点を示している。基本組織は上皮組織、結合（支持）組織、筋組織、神経組織の4群である。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「4基本組織を分類」は別の論点である。主な要点は「基本組織は上皮組織、結合（支持）組織、筋組織、神経組織の4群である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「結合組織の基本構成」は別の論点である。主な要点は「結合組織は細胞に加え、線維と基質からなる細胞外マトリックスを重要な構成要素としてもつ。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「細胞骨格の機能を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「細胞骨格は複数の線維系から構成され、細胞形態、運動、細胞内輸送、分裂などに関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「核と核小体の役割」の要点を示している。核小体はrRNAの転写やリボソームサブユニット形成に重要である。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0015

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「分泌蛋白は粗面小胞体上のリボソームで合成され、Golgi装置で修飾・選別後、分泌小胞を経て細胞外へ放出される。」

ア．蛋白合成と細胞内輸送の流れ

イ．4基本組織を分類

ウ．ミトコンドリアの機能

エ．リソソームの役割

0016

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「加水分解酵素を含み、細胞内消化に関与する。リソソームは酸性加水分解酵素を含み、取り込まれた物質や不要な細胞内成分の分解に関与する。」

ア．リソソームの役割

イ．4基本組織を分類

ウ．蛋白合成と細胞内輸送の流れ

エ．上皮組織の構造と機能の関係

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「蛋白合成と細胞内輸送の流れ」の要点を示している。分泌蛋白は粗面小胞体上のリボソームで合成され、Golgi装置で修飾・選別後、分泌小胞を経て細胞外へ放出される。

イ：「4基本組織を分類」は別の論点である。主な要点は「基本組織は上皮組織、結合（支持）組織、筋組織、神経組織の4群である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ミトコンドリアの機能」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアは細胞呼吸と酸化的リン酸化の中心で、ATP産生に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「リソソームの役割」は別の論点である。主な要点は「リソソームは酸性加水分解酵素を含み、取り込まれた物質や不要な細胞内成分の分解に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「リソソームの役割」の要点を示している。加水分解酵素を含み、細胞内消化に関与する。リソソームは酸性加水分解酵素を含み、取り込まれた物質や不要な細胞内成分の分解に関与する。

イ：「4基本組織を分類」は別の論点である。主な要点は「基本組織は上皮組織、結合（支持）組織、筋組織、神経組織の4群である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「蛋白合成と細胞内輸送の流れ」は別の論点である。主な要点は「分泌蛋白は粗面小胞体上のリボソームで合成され、Golgi装置で修飾・選別後、分泌小胞を経て細胞外へ放出される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「上皮組織の構造と機能の関係」は別の論点である。主な要点は「重層扁平上皮は複数層の細胞からなり、摩擦などの機械的刺激に対する防御に適している。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0017

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「重層扁平上皮は複数層の細胞からなり、摩擦などの機械的刺激に対する防御に適している。」

ア．細胞分裂における中心体・微小管の役割

イ．上皮組織の構造と機能の関係

ウ．蛋白合成と細胞内輸送の流れ

エ．核と核小体の役割

答え・解説

正答：イ

ア：「細胞分裂における中心体・微小管の役割」は別の論点である。主な要点は「紡錘体微小管は染色体の動原体などと相互作用し、娘細胞への染色体分配に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「上皮組織の構造と機能の関係」の要点を示している。重層扁平上皮は複数層の細胞からなり、摩擦などの機械的刺激に対する防御に適している。

ウ：「蛋白合成と細胞内輸送の流れ」は別の論点である。主な要点は「分泌蛋白は粗面小胞体上のリボソームで合成され、Golgi装置で修飾・選別後、分泌小胞を経て細胞外へ放出される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「核と核小体の役割」は別の論点である。主な要点は「核小体はrRNAの転写やリボソームサブユニット形成に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0018

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「結合組織は細胞に加え、線維と基質からなる細胞外マトリックスを重要な構成要素としてもつ。」

ア．細胞分裂における中心体・微小管の役割

イ．細胞骨格の機能を統合して説明

ウ．結合組織の基本構成

エ．ミトコンドリアの機能

答え・解説

正答：ウ

ア：「細胞分裂における中心体・微小管の役割」は別の論点である。主な要点は「紡錘体微小管は染色体の動原体などと相互作用し、娘細胞への染色体分配に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「細胞骨格の機能を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「細胞骨格は複数の線維系から構成され、細胞形態、運動、細胞内輸送、分裂などに関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「結合組織の基本構成」の要点を示している。結合組織は細胞に加え、線維と基質からなる細胞外マトリックスを重要な構成要素としてもつ。

エ：「ミトコンドリアの機能」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアは細胞呼吸と酸化的リン酸化の中心で、ATP産生に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0019

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：応用

- 「細胞・組織の構造と機能」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
- 「細胞骨格は複数の線維系から構成され、細胞形態、運動、細胞内輸送、分裂などに関与する。」
- ア．4基本組織を分類
 - イ．細胞骨格の機能を統合して説明
 - ウ．結合組織の基本構成
 - エ．核と核小体の役割

答え・解説

正答：イ

- ア：「4基本組織を分類」は別の論点である。主な要点は「基本組織は上皮組織、結合（支持）組織、筋組織、神経組織の4群である。」で、今回の説明とは一致しない。
- イ：この説明は「細胞骨格の機能を統合して説明」の要点を示している。細胞骨格は複数の線維系から構成され、細胞形態、運動、細胞内輸送、分裂などに関与する。
- ウ：「結合組織の基本構成」は別の論点である。主な要点は「結合組織は細胞に加え、線維と基質からなる細胞外マトリックスを重要な構成要素としてもつ。」で、今回の説明とは一致しない。
- エ：「核と核小体の役割」は別の論点である。主な要点は「核小体はrRNAの転写やりボソームサブユニット形成に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0020

発生・細胞・遺伝 > 細胞・組織の構造と機能 | 難易度：応用

- 次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
- 「紡錘体微小管は染色体の動原体などと相互作用し、娘細胞への染色体分配に重要である。」
- ア．上皮組織の構造と機能の関係
 - イ．ミトコンドリアの機能
 - ウ．細胞分裂における中心体・微小管の役割
 - エ．結合組織の基本構成

答え・解説

正答：ウ

- ア：「上皮組織の構造と機能の関係」は別の論点である。主な要点は「重層扁平上皮は複数層の細胞からなり、摩擦などの機械的刺激に対する防御に適している。」で、今回の説明とは一致しない。
- イ：「ミトコンドリアの機能」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアは細胞呼吸と酸化的リン酸化の中心で、ATP産生に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
- ウ：この説明は「細胞分裂における中心体・微小管の役割」の要点を示している。紡錘体微小管は染色体の動原体などと相互作用し、娘細胞への染色体分配に重要である。
- エ：「結合組織の基本構成」は別の論点である。主な要点は「結合組織は細胞に加え、線維と基質からなる細胞外マトリックスを重要な構成要素としてもつ。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「細胞・組織の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0021

発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「遺伝子はDNA上の機能的な配列で、核内DNAはヒストンなどの蛋白質とともに染色体として組織化される。」

ア．数的異常と構造異常

イ．減数分裂の遺伝学的意義

ウ．ミトコンドリア遺伝の特徴

エ．DNA・遺伝子・染色体の関係

0022

発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「ヒトの通常の体細胞は23対、計46本の染色体をもつ。」

ア．X連鎖劣性遺伝の基本

イ．ミトコンドリア遺伝の特徴

ウ．ヒト染色体数

エ．減数分裂の遺伝学的意義

答え・解説

正答：エ

ア：「数的異常と構造異常」は別の論点である。主な要点は「モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「減数分裂の遺伝学的意義」は別の論点である。主な要点は「減数分裂により配偶子は半数体となり、受精で二倍体が回復するため、種固有の染色体数が維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ミトコンドリア遺伝の特徴」は別の論点である。主な要点は「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「DNA・遺伝子・染色体の関係」の要点を示している。遺伝子はDNA上の機能的な配列で、核内DNAはヒストンなどの蛋白質とともに染色体として組織化される。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「X連鎖劣性遺伝の基本」は別の論点である。主な要点は「男児はX染色体を母から受け取るため、母が保因者なら各男児が変異Xを受け継ぐ確率は1/2である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「ミトコンドリア遺伝の特徴」は別の論点である。主な要点は「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「ヒト染色体数」の要点を示している。ヒトの通常の体細胞は23対、計46本の染色体をもつ。

エ：「減数分裂の遺伝学的意義」は別の論点である。主な要点は「減数分裂により配偶子は半数体となり、受精で二倍体が回復するため、種固有の染色体数が維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0023

発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「減数分裂により卵・精子は23本の染色体をもつ半数体となり、受精で二倍体が回復する。」

ア．ミトコンドリア遺伝の特徴

イ．数的異常と構造異常

ウ．配偶子の染色体数

エ．X連鎖劣性遺伝の基本

0024

発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「ヘテロ接合体の親は変異アレルと正常アレルをそれぞれ約1/2の確率で配偶子へ伝えるため、各妊娠で受け継ぐ確率は1/2である。」

ア．常染色体優性遺伝の再発確率

イ．数的異常と構造異常

ウ．減数分裂の遺伝学的意義

エ．ミトコンドリア遺伝の特徴

答え・解説

正答：ウ

ア：「ミトコンドリア遺伝の特徴」は別の論点である。主な要点は「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「数的異常と構造異常」は別の論点である。主な要点は「モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「配偶子の染色体数」の要点を示している。減数分裂により卵・精子は23本の染色体をもつ半数体となり、受精で二倍体が回復する。

エ：「X連鎖劣性遺伝の基本」は別の論点である。主な要点は「男児はX染色体を母から受け取るため、母が保因者なら各男児が変異Xを受け継ぐ確率は1/2である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「常染色体優性遺伝の再発確率」の要点を示している。ヘテロ接合体の親は変異アレルと正常アレルをそれぞれ約1/2の確率で配偶子へ伝えるため、各妊娠で受け継ぐ確率は1/2である。

イ：「数的異常と構造異常」は別の論点である。主な要点は「モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「減数分裂の遺伝学的意義」は別の論点である。主な要点は「減数分裂により配偶子は半数体となり、受精で二倍体が回復するため、種固有の染色体数が維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ミトコンドリア遺伝の特徴」は別の論点である。主な要点は「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0025

発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「両親がともに保因者なら、子が変異アレルを両方から受け取る確率は1/4である。」

- ア．数的異常と構造異常
- イ．減数分裂の遺伝学的意義
- ウ．ミトコンドリア遺伝の特徴
- エ．常染色体劣性遺伝の再発確率

答え・解説

正答：エ

ア：「数的異常と構造異常」は別の論点である。主な要点は「モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「減数分裂の遺伝学的意義」は別の論点である。主な要点は「減数分裂により配偶子は半数体となり、受精で二倍体が回復するため、種固有の染色体数が維持される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「ミトコンドリア遺伝の特徴」は別の論点である。主な要点は「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「常染色体劣性遺伝の再発確率」の要点を示している。両親がともに保因者なら、子が変異アレルを両方から受け取る確率は1/4である。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0026

発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「男児はX染色体を母から受け取るため、母が保因者なら各男児が変異Xを受け継ぐ確率は1/2である。」

- ア．ヒト染色体数
- イ．X連鎖劣性遺伝の基本
- ウ．数的異常と構造異常
- エ．染色体数的異常

答え・解説

正答：イ

ア：「ヒト染色体数」は別の論点である。主な要点は「ヒトの通常の体細胞は23対、計46本の染色体をもつ。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「X連鎖劣性遺伝の基本」の要点を示している。男児はX染色体を母から受け取るため、母が保因者なら各男児が変異Xを受け継ぐ確率は1/2である。
ウ：「数的異常と構造異常」は別の論点である。主な要点は「モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「染色体数的異常」は別の論点である。主な要点は「トリソミーは、ある染色体が通常の2コピーではなく3コピー存在する数的染色体異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0027 発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：標準

「遺伝子・染色体・遺伝」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」

ア．数的異常と構造異常

イ．染色体数的異常

ウ．ミトコンドリア遺伝の特徴

エ．ヒト染色体数

0028 発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「特定の染色体が通常2本のところ3本存在する数的異常。トリソミーは、ある染色体が通常の2コピーではなく3コピー存在する数的染色体異常である。」

ア．ミトコンドリア遺伝の特徴

イ．染色体数的異常

ウ．X連鎖劣性遺伝の基本

エ．減数分裂の遺伝学的意義

答え・解説 正答：ウ

ア：「数的異常と構造異常」は別の論点である。主な要点は「モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「染色体数的異常」は別の論点である。主な要点は「トリソミーは、ある染色体が通常の2コピーではなく3コピー存在する数的染色体異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「ミトコンドリア遺伝の特徴」の要点を示している。受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。

エ：「ヒト染色体数」は別の論点である。主な要点は「ヒトの通常の体細胞は23対、計46本の染色体をもつ。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「ミトコンドリア遺伝の特徴」は別の論点である。主な要点は「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「染色体数的異常」の要点を示している。特定の染色体が通常2本のところ3本存在する数的異常。トリソミーは、ある染色体が通常の2コピーではなく3コピー存在する数的染色体異常である。

ウ：「X連鎖劣性遺伝の基本」は別の論点である。主な要点は「男児はX染色体を母から受け取るため、母が保因者なら各男児が変異Xを受け継ぐ確率は1/2である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「減数分裂の遺伝学的意義」は別の論点である。主な要点は「減数分裂により配偶子は半数体となり、受精で二倍体が回復するため、種固有の染色体数が維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0029 発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。」

ア．ミトコンドリア遺伝の特徴
イ．DNA・遺伝子・染色体の関係
ウ．数的異常と構造異常
エ．X連鎖劣性遺伝の基本

答え・解説 正答：ウ

ア：「ミトコンドリア遺伝の特徴」は別の論点である。主な要点は「受精後のミトコンドリアは主として卵由来であるため、ミトコンドリアDNAの病的変異は母系遺伝を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「DNA・遺伝子・染色体の関係」は別の論点である。主な要点は「遺伝子はDNA上の機能的な配列で、核内DNAはヒストンなどの蛋白質とともに染色体として組織化される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「数的異常と構造異常」の要点を示している。モノソミーは染色体数の不足で数的異常、欠失は染色体の一部が失われる構造異常である。
エ：「X連鎖劣性遺伝の基本」は別の論点である。主な要点は「男児はX染色体を母から受け取るため、母が保因者なら各男児が変異Xを受け継ぐ確率は1/2である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0030 発生・細胞・遺伝 > 遺伝子・染色体・遺伝 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「減数分裂により配偶子は半数体となり、受精で二倍体が回復するため、種固有の染色体数が維持される。」

ア．ヒト染色体数
イ．常染色体優性遺伝の再発確率
ウ．常染色体劣性遺伝の再発確率
エ．減数分裂の遺伝学的意義

答え・解説 正答：エ

ア：「ヒト染色体数」は別の論点である。主な要点は「ヒトの通常の体細胞は23対、計46本の染色体をもつ。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「常染色体優性遺伝の再発確率」は別の論点である。主な要点は「ヘテロ接合体の親は変異アレルと正常アレルをそれぞれ約1/2の確率で配偶子へ伝えるため、各妊娠で受け継ぐ確率は1/2である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「常染色体劣性遺伝の再発確率」は別の論点である。主な要点は「両親がともに保因者なら、子が変異アレルを両方から受け取る確率は1/4である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「減数分裂の遺伝学的意義」の要点を示している。減数分裂により配偶子は半数体となり、受精で二倍体が回復するため、種固有の染色体数が維持される。

総合解説：この問題は「遺伝子・染色体・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0031 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「中枢神経系は脳と脊髄から構成される。」

- ア．視床下部の恒常性維持機能
- イ．中枢神経系の構成
- ウ．化学シナプスの情報伝達
- エ．大脳葉と主要機能の対応

答え・解説 正答：イ

ア：「視床下部の恒常性維持機能」は別の論点である。主な要点は「視床下部は自律神経系と内分泌系を統合し、体温、摂食、体液などの恒常性調節に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「中枢神経系の構成」の要点を示している。中枢神経系は脳と脊髄から構成される。
ウ：「化学シナプスの情報伝達」は別の論点である。主な要点は「化学シナプスではシナプス前終末から神経伝達物質が放出され、間隙を拡散してシナプス後膜の受容体に結合する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「大脳葉と主要機能の対応」は別の論点である。主な要点は「一次視覚野は主に後頭葉に位置し、視覚情報処理の初期段階を担う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0032 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「中枢神経系の外にある神経構造を含む。末梢神経系は脳・脊髄以外の神経構造を指し、脳神経や脊髄神経などを含む。」

- ア．大脳葉と主要機能の対応
- イ．ニューロン各部の機能
- ウ．髄鞘と跳躍伝導の関係
- エ．末梢神経系の位置づけ

答え・解説 正答：エ

ア：「大脳葉と主要機能の対応」は別の論点である。主な要点は「一次視覚野は主に後頭葉に位置し、視覚情報処理の初期段階を担う。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「ニューロン各部の機能」は別の論点である。主な要点は「軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「髄鞘と跳躍伝導の関係」は別の論点である。主な要点は「髄鞘は軸索膜を電氣的に絶縁し、活動電位は主にRanvier絞輪で再生されるため跳躍伝導が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「末梢神経系の位置づけ」の要点を示している。中枢神経系の外にある神経構造を含む。末梢神経系は脳・脊髄以外の神経構造を指し、脳神経や脊髄神経などを含む。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0033 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。」

ア．副交感神経と瞳孔反応
イ．中枢と末梢の髄鞘形成細胞
ウ．ニューロン各部の機能
エ．自律神経遠心路の基本構成

答え・解説 正答：ウ

ア：「副交感神経と瞳孔反応」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感路は毛様体神経節を介して瞳孔括約筋などを支配し、縮瞳や調節に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「中枢と末梢の髄鞘形成細胞」は別の論点である。主な要点は「中枢神経系ではオリゴデンドロサイト、末梢神経系ではSchwann細胞が髄鞘を形成する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「ニューロン各部の機能」の要点を示している。軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。
エ：「自律神経遠心路の基本構成」は別の論点である。主な要点は「自律神経の遠心路は一般に節前ニューロンと節後ニューロンからなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0034 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「中枢神経系ではオリゴデンドロサイト、末梢神経系ではSchwann細胞が髄鞘を形成する。」

ア．中枢と末梢の髄鞘形成細胞
イ．副交感神経と瞳孔反応
ウ．ニューロン各部の機能
エ．視床下部の恒常性維持機能

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「中枢と末梢の髄鞘形成細胞」の要点を示している。中枢神経系ではオリゴデンドロサイト、末梢神経系ではSchwann細胞が髄鞘を形成する。
イ：「副交感神経と瞳孔反応」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感路は毛様体神経節を介して瞳孔括約筋などを支配し、縮瞳や調節に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「ニューロン各部の機能」は別の論点である。主な要点は「軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「視床下部の恒常性維持機能」は別の論点である。主な要点は「視床下部は自律神経系と内分泌系を統合し、体温、摂食、体液などの恒常性調節に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0035

神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：標準

「脳・神経・自律神経」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「髄鞘は軸索膜を電気的に絶縁し、活動電位は主にRanvier絞輪で再生されるため跳躍伝導が生じる。」

ア．ニューロン各部の機能
イ．自律神経遠心路の基本構成
ウ．中枢神経系の構成
エ．髄鞘と跳躍伝導の関係

答え・解説

正答：エ

ア：「ニューロン各部の機能」は別の論点である。主な要点は「軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「自律神経遠心路の基本構成」は別の論点である。主な要点は「自律神経の遠心路は一般に節前ニューロンと節後ニューロンからなる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「中枢神経系の構成」は別の論点である。主な要点は「中枢神経系は脳と脊髄から構成される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「髄鞘と跳躍伝導の関係」の要点を示している。髄鞘は軸索膜を電気的に絶縁し、活動電位は主にRanvier絞輪で再生されるため跳躍伝導が生じる。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0036

神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「神経伝達物質が放出され、シナプス後膜受容体に作用する。化学シナプスではシナプス前終末から神経伝達物質が放出され、間隙を拡散してシナプス後膜の受容体に結合する。」

ア．副交感神経と瞳孔反応
イ．化学シナプスの情報伝達
ウ．交感神経と副交感神経の機能差
エ．ニューロン各部の機能

答え・解説

正答：イ

ア：「副交感神経と瞳孔反応」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感路は毛様体神経節を介して瞳孔括約筋などを支配し、縮瞳や調節に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「化学シナプスの情報伝達」の要点を示している。神経伝達物質が放出され、シナプス後膜受容体に作用する。化学シナプスではシナプス前終末から神経伝達物質が放出され、間隙を拡散してシナプス後膜の受容体に結合する。
ウ：「交感神経と副交感神経の機能差」は別の論点である。主な要点は「交感神経活動の増加は心機能を亢進させ、心拍数を増加させる方向に働く。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「ニューロン各部の機能」は別の論点である。主な要点は「軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0037 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「自律神経の遠心路は一般に節前ニューロンと節後ニューロンからなる。」

ア．自律神経遠心路の基本構成
イ．ニューロン各部の機能
ウ．大脳葉と主要機能の対応
エ．髄鞘と跳躍伝導の関係

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「自律神経遠心路の基本構成」の要点を示している。自律神経の遠心路は一般に節前ニューロンと節後ニューロンからなる。
イ：「ニューロン各部の機能」は別の論点である。主な要点は「軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「大脳葉と主要機能の対応」は別の論点である。主な要点は「一次視覚野は主に後頭葉に位置し、視覚情報処理の初期段階を担う。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「髄鞘と跳躍伝導の関係」は別の論点である。主な要点は「髄鞘は軸索膜を電氣的に絶縁し、活動電位は主にRanvier絞輪で再生されるため跳躍伝導が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0038 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「交感神経活動の増加は心機能を亢進させ、心拍数を増加させる方向に働く。」

ア．化学シナプスの情報伝達
イ．中枢と末梢の髄鞘形成細胞
ウ．交感神経と副交感神経の機能差
エ．髄鞘と跳躍伝導の関係

答え・解説 正答：ウ

ア：「化学シナプスの情報伝達」は別の論点である。主な要点は「化学シナプスではシナプス前終末から神経伝達物質が放出され、間隙を拡散してシナプス後膜の受容体に結合する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「中枢と末梢の髄鞘形成細胞」は別の論点である。主な要点は「中枢神経系ではオリゴデンドロサイト、末梢神経系ではSchwann細胞が髄鞘を形成する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「交感神経と副交感神経の機能差」の要点を示している。交感神経活動の増加は心機能を亢進させ、心拍数を増加させる方向に働く。
エ：「髄鞘と跳躍伝導の関係」は別の論点である。主な要点は「髄鞘は軸索膜を電氣的に絶縁し、活動電位は主にRanvier絞輪で再生されるため跳躍伝導が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0039 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「動眼神経副交感路は毛様体神経節を介して瞳孔括約筋などを支配し、縮瞳や調節に關与する。」

ア．副交感神経と瞳孔反応

イ．ニューロン各部の機能

ウ．化学シナプスの情報伝達

エ．視床下部の恒常性維持機能

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「副交感神経と瞳孔反応」の要点を示している。動眼神経副交感路は毛様体神経節を介して瞳孔括約筋などを支配し、縮瞳や調節に關与する。

イ：「ニューロン各部の機能」は別の論点である。主な要点は「軸索は一般に細胞体から離れる方向へ電気信号を伝える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「化学シナプスの情報伝達」は別の論点である。主な要点は「化学シナプスではシナプス前終末から神経伝達物質が放出され、間隙を拡散してシナプス後膜の受容体に結合する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「視床下部の恒常性維持機能」は別の論点である。主な要点は「視床下部は自律神経系と内分泌系を統合し、体温、摂食、体液などの恒常性調節に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0040 神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「一次視覚野は主に後頭葉に位置し、視覚情報処理の初期段階を担う。」

ア．大脳葉と主要機能の対応

イ．末梢神経系の位置づけ

ウ．自律神経遠心路の基本構成

エ．中枢神経系の構成

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「大脳葉と主要機能の対応」の要点を示している。一次視覚野は主に後頭葉に位置し、視覚情報処理の初期段階を担う。

イ：「末梢神経系の位置づけ」は別の論点である。主な要点は「末梢神経系は脳・脊髄以外の神経構造を指し、脳神経や脊髄神経などを含む。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「自律神経遠心路の基本構成」は別の論点である。主な要点は「自律神経の遠心路は一般に節前ニューロンと節後ニューロンからなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「中枢神経系の構成」は別の論点である。主な要点は「中枢神経系は脳と脊髄から構成される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0041

神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「視床下部は自律神経系と内分泌系を統合し、体温、摂食、体液などの恒常性調節に重要である。」

ア．視床下部の恒常性維持機能

イ．副交感神経と瞳孔反応

ウ．中枢と末梢の髄鞘形成細胞

エ．中枢神経系の構成

0042

神経・感覚・全身機能 > 脳・神経・自律神経 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「末梢神経ではSchwann細胞などが再生を支援し得る一方、中枢神経軸索の長距離再生は一般に乏しい。」

ア．中枢と末梢の障害後再生能の違い

イ．副交感神経と瞳孔反応

ウ．自律神経遠心路の基本構成

エ．化学シナプスの情報伝達

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視床下部の恒常性維持機能」の要点を示している。視床下部は自律神経系と内分泌系を統合し、体温、摂食、体液などの恒常性調節に重要である。

イ：「副交感神経と瞳孔反応」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感路は毛様体神経節を介して瞳孔括約筋などを支配し、縮瞳や調節に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「中枢と末梢の髄鞘形成細胞」は別の論点である。主な要点は「中枢神経系ではオリゴデンドロサイト、末梢神経系ではSchwann細胞が髄鞘を形成する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「中枢神経系の構成」は別の論点である。主な要点は「中枢神経系は脳と脊髄から構成される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「中枢と末梢の障害後再生能の違い」の要点を示している。末梢神経ではSchwann細胞などが再生を支援し得る一方、中枢神経軸索の長距離再生は一般に乏しい。

イ：「副交感神経と瞳孔反応」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感路は毛様体神経節を介して瞳孔括約筋などを支配し、縮瞳や調節に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「自律神経遠心路の基本構成」は別の論点である。主な要点は「自律神経の遠心路は一般に節前ニューロンと節後ニューロンからなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「化学シナプスの情報伝達」は別の論点である。主な要点は「化学シナプスではシナプス前終末から神経伝達物質が放出され、間隙を拡散してシナプス後膜の受容体に結合する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経・自律神経」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0043

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：基礎

「感覚器・視覚系の構造と機能」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「角膜は眼の透明な前面構造で、入射光を大きく屈折させ、眼内の光学系として重要な役割を担う。」

ア．視覚系の中枢処理を統合して説明

イ．主要視覚伝導路の順序

ウ．杆体と錐体の機能差

エ．角膜の光学的役割

0044

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「瞳孔径を変化させ、眼内へ入る光量を調節する。虹彩は瞳孔を囲む組織で、括約筋・散大筋の働きにより瞳孔径を変え、入射光量を調節する。」

ア．主要視覚伝導路の順序

イ．視覚系の中枢処理を統合して説明

ウ．虹彩と瞳孔の関係

エ．中心窩の機能的意義

答え・解説

正答：エ

ア：「視覚系の中枢処理を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「主要視覚伝導路の順序」は別の論点である。主な要点は「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「杆体と錐体の機能差」は別の論点である。主な要点は「杆体は高感度で暗所視に適し、錐体は明所での色覚と高空間分解能に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「角膜の光学的役割」の要点を示している。角膜は眼の透明な前面構造で、入射光を大きく屈折させ、眼内の光学系として重要な役割を担う。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「主要視覚伝導路の順序」は別の論点である。主な要点は「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視覚系の中枢処理を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「虹彩と瞳孔の関係」の要点を示している。瞳孔径を変化させ、眼内へ入る光量を調節する。虹彩は瞳孔を囲む組織で、括約筋・散大筋の働きにより瞳孔径を変え、入射光量を調節する。

エ：「中心窩の機能的意義」は別の論点である。主な要点は「中心窩は黄斑の中心に位置し、高い視力・精細な中心視に重要な領域である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0045

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「杆体・錐体などの視細胞は光を受容し、光情報を電気的・化学的な神経信号へ変換する。」

ア．網膜の光受容機能

イ．主要視覚伝導路の順序

ウ．視覚系の中枢処理を統合して説明

エ．硝子体の位置と性質

0046

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「中心窩は黄斑の中心に位置し、高い視力・精細な中心視に重要な領域である。」

ア．視野と網膜像の左右関係を推論

イ．視覚系の中枢処理を統合して説明

ウ．主要視覚伝導路の順序

エ．中心窩の機能的意義

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「網膜の光受容機能」の要点を示している。杆体・錐体などの視細胞は光を受容し、光情報を電気的・化学的な神経信号へ変換する。

イ：「主要視覚伝導路の順序」は別の論点である。主な要点は「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視覚系の中枢処理を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「硝子体の位置と性質」は別の論点である。主な要点は「硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「視野と網膜像の左右関係を推論」は別の論点である。主な要点は「眼の光学系で左右が反転するため右視野は両眼の左網膜半部に結像し、部分交叉を経て主に左後頭葉へ伝わる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視覚系の中枢処理を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「主要視覚伝導路の順序」は別の論点である。主な要点は「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「中心窩の機能的意義」の要点を示している。中心窩は黄斑の中心に位置し、高い視力・精細な中心視に重要な領域である。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0047

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「水晶体は透明な両凸レンズ状構造で、角膜とともに光を網膜上へ集束させる。」

ア．視覚系の中樞処理を統合して説明

イ．主要視覚伝導路の順序

ウ．水晶体の役割

エ．視野と網膜像の左右関係を推論

0048

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「網膜で生じた視覚信号を中樞へ伝える。視神経は網膜神経節細胞の軸索からなり、網膜で処理された視覚情報を脳へ伝える。」

ア．硝子体の位置と性質

イ．虹彩と瞳孔の関係

ウ．視神経の機能

エ．角膜の光学的役割

答え・解説

正答：ウ

ア：「視覚系の中樞処理を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「主要視覚伝導路の順序」は別の論点である。主な要点は「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「水晶体の役割」の要点を示している。水晶体は透明な両凸レンズ状構造で、角膜とともに光を網膜上へ集束させる。

エ：「視野と網膜像の左右関係を推論」は別の論点である。主な要点は「眼の光学系で左右が反転するため右視野は両眼の左網膜半部に結像し、部分交叉を経て主に左後頭葉へ伝わる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「硝子体の位置と性質」は別の論点である。主な要点は「硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「虹彩と瞳孔の関係」は別の論点である。主な要点は「虹彩は瞳孔を囲む組織で、括約筋・散大筋の働きにより瞳孔径を変え、入射光量を調節する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「視神経の機能」の要点を示している。網膜で生じた視覚信号を中樞へ伝える。視神経は網膜神経節細胞の軸索からなり、網膜で処理された視覚情報を脳へ伝える。

エ：「角膜の光学的役割」は別の論点である。主な要点は「角膜は眼の透明な前面構造で、入射光を大きく屈折させ、眼内の光学系として重要な役割を担う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0049

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「ヒトでは鼻側網膜からの線維が視交叉で交叉し、耳側網膜由来線維は主に同側を走る。」

ア．杆体と錐体の機能差

イ．視交叉での線維交叉

ウ．中心窩の機能的意義

エ．硝子体の位置と性質

0050

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」

ア．虹彩と瞳孔の関係

イ．主要視覚伝導路の順序

ウ．硝子体の位置と性質

エ．中心窩の機能的意義

答え・解説

正答：イ

ア：「杆体と錐体の機能差」は別の論点である。主な要点は「杆体は高感度で暗所視に適し、錐体は明所での色覚と高空間分解能に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「視交叉での線維交叉」の要点を示している。ヒトでは鼻側網膜からの線維が視交叉で交叉し、耳側網膜由来線維は主に同側を走る。

ウ：「中心窩の機能的意義」は別の論点である。主な要点は「中心窩は黄斑の中心に位置し、高い視力・精細な中心視に重要な領域である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「硝子体の位置と性質」は別の論点である。主な要点は「硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：イ

ア：「虹彩と瞳孔の関係」は別の論点である。主な要点は「虹彩は瞳孔を囲む組織で、括約筋・散大筋の働きにより瞳孔径を変え、入射光量を調節する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「主要視覚伝導路の順序」の要点を示している。網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。

ウ：「硝子体の位置と性質」は別の論点である。主な要点は「硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「中心窩の機能的意義」は別の論点である。主な要点は「中心窩は黄斑の中心に位置し、高い視力・精細な中心視に重要な領域である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0051

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：標準

「感覚器・視覚系の構造と機能」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「杆体は高感度で暗所視に適し、錐体は明所での色覚と高空間分解能に重要である。」

ア．視覚系の中枢処理を統合して説明

イ．視交叉での線維交叉

ウ．杆体と錐体の機能差

エ．主要視覚伝導路の順序

答え・解説

正答：ウ

ア：「視覚系の中枢処理を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視交叉での線維交叉」は別の論点である。主な要点は「ヒトでは鼻側網膜からの線維が視交叉で交叉し、耳側網膜由来線維は主に同側を走る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「杆体と錐体の機能差」の要点を示している。杆体は高感度で暗所視に適し、錐体は明所での色覚と高空間分解能に重要である。

エ：「主要視覚伝導路の順序」は別の論点である。主な要点は「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0052

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「水晶体後方の眼球内を満たす透明なゲル状組織である。硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。」

ア．視覚系の中枢処理を統合して説明

イ．硝子体の位置と性質

ウ．主要視覚伝導路の順序

エ．視野と網膜像の左右関係を推論

答え・解説

正答：イ

ア：「視覚系の中枢処理を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「硝子体の位置と性質」の要点を示している。水晶体後方の眼球内を満たす透明なゲル状組織である。硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。

ウ：「主要視覚伝導路の順序」は別の論点である。主な要点は「網膜からの主要な視覚情報は視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線を経て後頭葉の一次視覚野へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「視野と網膜像の左右関係を推論」は別の論点である。主な要点は「眼の光学系で左右が反転するため右視野は両眼の左網膜半部に結像し、部分交叉を経て主に左後頭葉へ伝わる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0053

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「眼の光学系で左右が反転するため右視野は両眼の左網膜半部に結像し、部分交叉を経て主に左後頭葉へ伝わる。」

ア．中心窩の機能的意義

イ．硝子体の位置と性質

ウ．水晶体の役割

エ．視野と網膜像の左右関係を推論

0054

神経・感覚・全身機能 > 感覚器・視覚系の構造と機能 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。」

ア．視覚系の中枢処理を統合して説明

イ．硝子体の位置と性質

ウ．杆体と錐体の機能差

エ．中心窩の機能的意義

答え・解説

正答：エ

ア：「中心窩の機能的意義」は別の論点である。主な要点は「中心窩は黄斑の中心に位置し、高い視力・精細な中心視に重要な領域である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「硝子体の位置と性質」は別の論点である。主な要点は「硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「水晶体の役割」は別の論点である。主な要点は「水晶体は透明な両凸レンズ状構造で、角膜とともに光を網膜上へ集束させる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視野と網膜像の左右関係を推論」の要点を示している。眼の光学系で左右が反転するため右視野は両眼の左網膜半部に結像し、部分交叉を経て主に左後頭葉へ伝わる。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視覚系の中枢処理を統合して説明」の要点を示している。視覚は網膜での光電変換に始まり、視覚伝導路と大脳皮質での情報処理を経て成立する。

イ：「硝子体の位置と性質」は別の論点である。主な要点は「硝子体は水晶体の後方から網膜前面までの大部分を占める透明なゲル状組織である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「杆体と錐体の機能差」は別の論点である。主な要点は「杆体は高感度で暗所視に適し、錐体は明所での色覚と高空間分解能に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「中心窩の機能的意義」は別の論点である。主な要点は「中心窩は黄斑の中心に位置し、高い視力・精細な中心視に重要な領域である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「感覚器・視覚系の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0055 神経・感覚・全身機能 > 全身臓器の構造と機能 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「肺循環は右心室→肺動脈→肺毛細血管→肺静脈→左心房の流れである。」

ア．体循環と肺循環

イ．複数臓器の恒常性維持を統合して説明

ウ．甲状腺系の負のフィードバック

エ．毛細血管の構造と交換機能

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「体循環と肺循環」の要点を示している。肺循環は右心室→肺動脈→肺毛細血管→肺静脈→左心房の流れである。

イ：「複数臓器の恒常性維持を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「恒常性は単一臓器だけでなく、心血管・呼吸・腎・内分泌・神経などの協調で維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「甲状腺系の負のフィードバック」は別の論点である。主な要点は「甲状腺ホルモンT3・T4は下垂体と視床下部へ負のフィードバックをかけ、TSH・TRH分泌を抑える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「毛細血管の構造と交換機能」は別の論点である。主な要点は「毛細血管壁は基本的に一層の内皮細胞を中心とする薄い構造で、ガスや栄養素などの交換に適する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身臓器の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0056 神経・感覚・全身機能 > 全身臓器の構造と機能 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「空気と血液の間で酸素・二酸化炭素のガス交換を行う。肺胞は薄い壁と豊富な毛細血管をもち、拡散によりガス交換を行う主要部位である。」

ア．複数臓器の恒常性維持を統合して説明

イ．甲状腺系の負のフィードバック

ウ．毛細血管の構造と交換機能

エ．肺胞の役割

答え・解説 正答：エ

ア：「複数臓器の恒常性維持を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「恒常性は単一臓器だけでなく、心血管・呼吸・腎・内分泌・神経などの協調で維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「甲状腺系の負のフィードバック」は別の論点である。主な要点は「甲状腺ホルモンT3・T4は下垂体と視床下部へ負のフィードバックをかけ、TSH・TRH分泌を抑える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「毛細血管の構造と交換機能」は別の論点である。主な要点は「毛細血管壁は基本的に一層の内皮細胞を中心とする薄い構造で、ガスや栄養素などの交換に適する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「肺胞の役割」の要点を示している。空気と血液の間で酸素・二酸化炭素のガス交換を行う。肺胞は薄い壁と豊富な毛細血管をもち、拡散によりガス交換を行う主要部位である。

総合解説：この問題は「全身臓器の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0057

神経・感覚・全身機能 > 全身臓器の構造と機能 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「糸球体毛細血管とBowman嚢からなる腎小体は血液濾過を担い、尿生成の出発点となる。」

ア．複数臓器の恒常性維持を統合して説明

イ．甲状腺系の負のフィードバック

ウ．腎糸球体の機能

エ．体循環と肺循環

0058

神経・感覚・全身機能 > 全身臓器の構造と機能 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「甲状腺ホルモンT3・T4は下垂体と視床下部へ負のフィードバックをかけ、TSH・TRH分泌を抑える。」

ア．体循環と肺循環

イ．複数臓器の恒常性維持を統合して説明

ウ．甲状腺系の負のフィードバック

エ．毛細血管の構造と交換機能

答え・解説

正答：ウ

ア：「複数臓器の恒常性維持を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「恒常性は単一臓器だけでなく、心血管・呼吸・腎・内分泌・神経などの協調で維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「甲状腺系の負のフィードバック」は別の論点である。主な要点は「甲状腺ホルモンT3・T4は下垂体と視床下部へ負のフィードバックをかけ、TSH・TRH分泌を抑える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「腎糸球体の機能」の要点を示している。糸球体毛細血管とBowman嚢からなる腎小体は血液濾過を担い、尿生成の出発点となる。

エ：「体循環と肺循環」は別の論点である。主な要点は「肺循環は右心室→肺動脈→肺毛細血管→肺静脈→左心房の流れである。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身臓器の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「体循環と肺循環」は別の論点である。主な要点は「肺循環は右心室→肺動脈→肺毛細血管→肺静脈→左心房の流れである。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「複数臓器の恒常性維持を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「恒常性は単一臓器だけでなく、心血管・呼吸・腎・内分泌・神経などの協調で維持される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「甲状腺系の負のフィードバック」の要点を示している。甲状腺ホルモンT3・T4は下垂体と視床下部へ負のフィードバックをかけ、TSH・TRH分泌を抑える。

エ：「毛細血管の構造と交換機能」は別の論点である。主な要点は「毛細血管壁は基本的に一層の内皮細胞を中心とする薄い構造で、ガスや栄養素などの交換に適する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身臓器の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0059

神経・感覚・全身機能 > 全身臓器の構造と機能 | 難易度：標準

- 「全身臓器の構造と機能」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
- 「毛細血管壁は基本的に一層の内皮細胞を中心とする薄い構造で、ガスや栄養素などの交換に適する。」
- ア．甲状腺系の負のフィードバック
 - イ．毛細血管の構造と交換機能
 - ウ．複数臓器の恒常性維持を統合して説明
 - エ．体循環と肺循環

答え・解説

正答：イ

- ア：「甲状腺系の負のフィードバック」は別の論点である。主な要点は「甲状腺ホルモンT3・T4は下垂体と視床下部へ負のフィードバックをかけ、TSH・TRH分泌を抑える。」で、今回の説明とは一致しない。
- イ：この説明は「毛細血管の構造と交換機能」の要点を示している。毛細血管壁は基本的に一層の内皮細胞を中心とする薄い構造で、ガスや栄養素などの交換に適する。
- ウ：「複数臓器の恒常性維持を統合して説明」は別の論点である。主な要点は「恒常性は単一臓器だけでなく、心血管・呼吸・腎・内分泌・神経などの協調で維持される。」で、今回の説明とは一致しない。
- エ：「体循環と肺循環」は別の論点である。主な要点は「肺循環は右心室→肺動脈→肺毛細血管→肺静脈→左心房の流れである。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身臓器の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0060

神経・感覚・全身機能 > 全身臓器の構造と機能 | 難易度：応用

- 次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
- 「循環・呼吸・腎・内分泌など複数系が相互に作用し、酸素供給や体液組成を調節する。恒常性は単一臓器だけでなく、心血管・呼吸・腎・内分泌・神経などの協調で維持される。」
- ア．複数臓器の恒常性維持を統合して説明
 - イ．体循環と肺循環
 - ウ．甲状腺系の負のフィードバック
 - エ．毛細血管の構造と交換機能

答え・解説

正答：ア

- ア：この説明は「複数臓器の恒常性維持を統合して説明」の要点を示している。循環・呼吸・腎・内分泌など複数系が相互に作用し、酸素供給や体液組成を調節する。恒常性は単一臓器だけでなく、心血管・呼吸・腎・内分泌・神経などの協調で維持される。
- イ：「体循環と肺循環」は別の論点である。主な要点は「肺循環は右心室→肺動脈→肺毛細血管→肺静脈→左心房の流れである。」で、今回の説明とは一致しない。
- ウ：「甲状腺系の負のフィードバック」は別の論点である。主な要点は「甲状腺ホルモンT3・T4は下垂体と視床下部へ負のフィードバックをかけ、TSH・TRH分泌を抑える。」で、今回の説明とは一致しない。
- エ：「毛細血管の構造と交換機能」は別の論点である。主な要点は「毛細血管壁は基本的に一層の内皮細胞を中心とする薄い構造で、ガスや栄養素などの交換に適する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身臓器の構造と機能」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0061病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「細胞傷害は低酸素、物理的・化学的因子、感染、免疫反応、遺伝的異常、栄養異常など多様な原因で生じる。」

ア．細胞傷害の代表的な原因
イ．急性炎症と慢性炎症の違い
ウ．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明
エ．転移の概念

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「細胞傷害の代表的な原因」の要点を示している。細胞傷害は低酸素、物理的・化学的因子、感染、免疫反応、遺伝的異常、栄養異常など多様な原因で生じる。
イ：「急性炎症と慢性炎症の違い」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では好中球優位の反応が典型的で、慢性炎症ではマクロファージやリンパ球などの単核球浸潤と組織破壊・修復が持続しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「転移の概念」は別の論点である。主な要点は「転移とは、腫瘍細胞が原発巣から離れ、血行性・リンパ行性などで別部位に到達して二次性腫瘍を形成する現象である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0062病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「急性炎症では、一般に好中球が早期から病変部へ集積する。」

ア．転移の概念
イ．腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻
ウ．自然免疫と獲得免疫の基本的な違い
エ．急性炎症の主要な細胞反応

答え・解説 正答：エ

ア：「転移の概念」は別の論点である。主な要点は「転移とは、腫瘍細胞が原発巣から離れ、血行性・リンパ行性などで別部位に到達して二次性腫瘍を形成する現象である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻」は別の論点である。主な要点は「がんでは増殖制御の破綻、細胞死の回避、血管新生、浸潤・転移など複数の性質が獲得され得る。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「自然免疫と獲得免疫の基本的な違い」は別の論点である。主な要点は「自然免疫は皮膚・粘膜、食細胞、補体系などを含み、特異的な獲得免疫より速く反応する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「急性炎症の主要な細胞反応」の要点を示している。急性炎症では、一般に好中球が早期から病変部へ集積する。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0063

病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「自然免疫は皮膚・粘膜、食細胞、補体系などを含み、特異的な獲得免疫より速く反応する。」

ア．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明

イ．腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻

ウ．自然免疫と獲得免疫の基本的な違い

エ．急性炎症の主要な細胞反応

0064

病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「抗原刺激を受けて形質細胞へ分化し、抗体産生に關与する。B細胞は抗原に応答し、形質細胞への分化などを通じて抗体を産生する液性免疫の中心を担う。」

ア．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明

イ．アポトーシスと壊死の基本的な違い

ウ．液性免疫におけるB細胞の役割

エ．転移の概念

答え・解説

正答：ウ

ア：「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻」は別の論点である。主な要点は「がんでは増殖制御の破綻、細胞死の回避、血管新生、浸潤・転移など複数の性質が獲得され得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「自然免疫と獲得免疫の基本的な違い」の要点を示している。自然免疫は皮膚・粘膜、食細胞、補体系などを含み、特異的な獲得免疫より速く反応する。

エ：「急性炎症の主要な細胞反応」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では、一般に好中球が早期から病変部へ集積する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「アポトーシスと壊死の基本的な違い」は別の論点である。主な要点は「アポトーシスは生理的・病的状況で起こる制御された細胞死で、通常は周囲の強い炎症を伴いにくい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「液性免疫におけるB細胞の役割」の要点を示している。抗原刺激を受けて形質細胞へ分化し、抗体産生に關与する。B細胞は抗原に応答し、形質細胞への分化などを通じて抗体を産生する液性免疫の中心を担う。

エ：「転移の概念」は別の論点である。主な要点は「転移とは、腫瘍細胞が原発巣から離れ、血行性・リンパ行性などで別部位に到達して二次性腫瘍を形成する現象である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0065

病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「急性炎症では好中球優位の反応が典型的で、慢性炎症ではマクロファージやリンパ球などの単核球浸潤と組織破壊・修復が持続しやすい。」

ア．腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻

イ．細胞傷害の代表的な原因

ウ．急性炎症と慢性炎症の違い

エ．転移の概念

0066

病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「アポトーシスは生理的・病的状況で起こる制御された細胞死で、通常は周囲の強い炎症を伴いにくい。」

ア．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明

イ．アポトーシスと壊死の基本的な違い

ウ．液性免疫におけるB細胞の役割

エ．腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻

答え・解説

正答：ウ

ア：「腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻」は別の論点である。主な要点は「がんでは増殖制御の破綻、細胞死の回避、血管新生、浸潤・転移など複数の性質が獲得され得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「細胞傷害の代表的な原因」は別の論点である。主な要点は「細胞傷害は低酸素、物理的・化学的因子、感染、免疫反応、遺伝的異常、栄養異常など多様な原因で生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「急性炎症と慢性炎症の違い」の要点を示している。急性炎症では好中球優位の反応が典型的で、慢性炎症ではマクロファージやリンパ球などの単核球浸潤と組織破壊・修復が持続しやすい。

エ：「転移の概念」は別の論点である。主な要点は「転移とは、腫瘍細胞が原発巣から離れ、血行性・リンパ行性などで別部位に到達して二次性腫瘍を形成する現象である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「アポトーシスと壊死の基本的な違い」の要点を示している。アポトーシスは生理的・病的状況で起こる制御された細胞死で、通常は周囲の強い炎症を伴いにくい。

ウ：「液性免疫におけるB細胞の役割」は別の論点である。主な要点は「B細胞は抗原に应答し、形質細胞への分化などを通じて抗体を産生する液性免疫の中心を担う。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻」は別の論点である。主な要点は「がんでは増殖制御の破綻、細胞死の回避、血管新生、浸潤・転移など複数の性質が獲得され得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0067

病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：標準

「病因・炎症・免疫・腫瘍」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「悪性腫瘍では周囲組織への浸潤や転移が重要な特徴であり、良性腫瘍との鑑別に大きく関わる。」

ア．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明

イ．良性腫瘍と悪性腫瘍の一般的な違い

ウ．転移の概念

エ．液性免疫におけるB細胞の役割

0068

病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「原発部位から離れた部位に腫瘍細胞が広がり、二次性腫瘍を形成すること。転移とは、腫瘍細胞が原発巣から離れ、血行性・リンパ行性などで別部位に到達して二次性腫瘍を形成する現象である。」

ア．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明

イ．転移の概念

ウ．良性腫瘍と悪性腫瘍の一般的な違い

エ．急性炎症の主要な細胞反応

答え・解説

正答：イ

ア：「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「良性腫瘍と悪性腫瘍の一般的な違い」の要点を示している。悪性腫瘍では周囲組織への浸潤や転移が重要な特徴であり、良性腫瘍との鑑別に大きく関わる。

ウ：「転移の概念」は別の論点である。主な要点は「転移とは、腫瘍細胞が原発巣から離れ、血行性・リンパ行性などで別部位に到達して二次性腫瘍を形成する現象である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「液性免疫におけるB細胞の役割」は別の論点である。主な要点は「B細胞は抗原に応答し、形質細胞への分化などを通じて抗体を産生する液性免疫の中心を担う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「転移の概念」の要点を示している。原発部位から離れた部位に腫瘍細胞が広がり、二次性腫瘍を形成すること。転移とは、腫瘍細胞が原発巣から離れ、血行性・リンパ行性などで別部位に到達して二次性腫瘍を形成する現象である。

ウ：「良性腫瘍と悪性腫瘍の一般的な違い」は別の論点である。主な要点は「悪性腫瘍では周囲組織への浸潤や転移が重要な特徴であり、良性腫瘍との鑑別に大きく関わる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「急性炎症の主要な細胞反応」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では、一般に好中球が早期から病変部へ集積する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0069 病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」

ア．アポトーシスと壊死の基本的な違い

イ．自然免疫と獲得免疫の基本的な違い

ウ．腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻

エ．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明

0070 病態の基礎 > 病因・炎症・免疫・腫瘍 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「がんでは増殖制御の破綻、細胞死の回避、血管新生、浸潤・転移など複数の性質が獲得され得る。」

ア．炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明

イ．自然免疫と獲得免疫の基本的な違い

ウ．腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻

エ．急性炎症と慢性炎症の違い

答え・解説 正答：エ

ア：「アポトーシスと壊死の基本的な違い」は別の論点である。主な要点は「アポトーシスは生理的・病的状況で起こる制御された細胞死で、通常は周囲の強い炎症を伴いにくい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「自然免疫と獲得免疫の基本的な違い」は別の論点である。主な要点は「自然免疫は皮膚・粘膜、食細胞、補体系などを含み、特異的な獲得免疫より速く反応する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻」は別の論点である。主な要点は「がんでは増殖制御の破綻、細胞死の回避、血管新生、浸潤・転移など複数の性質が獲得され得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」の要点を示している。急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「炎症時の血管反応と白血球遊走を関連付けて説明」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では白血球の辺縁化・ローリング、接着、血管外遊出、化学走性などが協調して病変部への集積を起こす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「自然免疫と獲得免疫の基本的な違い」は別の論点である。主な要点は「自然免疫は皮膚・粘膜、食細胞、補体系などを含み、特異的な獲得免疫より速く反応する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「腫瘍形成に関わる細胞増殖制御の破綻」の要点を示している。がんでは増殖制御の破綻、細胞死の回避、血管新生、浸潤・転移など複数の性質が獲得され得る。

エ：「急性炎症と慢性炎症の違い」は別の論点である。主な要点は「急性炎症では好中球優位の反応が典型的で、慢性炎症ではマクロファージやリンパ球などの単核球浸潤と組織破壊・修復が持続しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「病因・炎症・免疫・腫瘍」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0071病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「創傷治癒は一般に止血、炎症、増殖、リモデリングという重なり合う段階を経て進行する。」

ア．創傷治癒の主要な段階

イ．神経再生と機能回復を区別して説明

ウ．神経可塑性と機能回復の関係

エ．リモデリング期の変化

0072病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「一次治癒（一次閉鎖）。組織欠損が小さく創縁を近接できる創では、創縁を合わせて治癒させる一次治癒が基本となる。」

ア．神経再生と機能回復を区別して説明

イ．一次治癒と二次治癒の違い

ウ．代表的な病期区分の意味

エ．肉芽組織の構成と役割

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「創傷治癒の主要な段階」の要点を示している。創傷治癒は一般に止血、炎症、増殖、リモデリングという重なり合う段階を経て進行する。

イ：「神経再生と機能回復を区別して説明」は別の論点である。主な要点は「中枢神経損傷後の回復では、損傷部そのものの完全再生に限らず、残存回路の可塑的再編成や代償が機能改善に寄与し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「神経可塑性と機能回復の関係」は別の論点である。主な要点は「神経可塑性とは経験や損傷などに応じて神経系の結合や機能が変化する性質で、機能回復や代償に関与し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「リモデリング期の変化」は別の論点である。主な要点は「リモデリング期ではコラーゲンの分解と再構築が続き、瘢痕組織の構造や引張強度が時間をかけて変化する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「神経再生と機能回復を区別して説明」は別の論点である。主な要点は「中枢神経損傷後の回復では、損傷部そのものの完全再生に限らず、残存回路の可塑的再編成や代償が機能改善に寄与し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「一次治癒と二次治癒の違い」の要点を示している。一次治癒（一次閉鎖）。組織欠損が小さく創縁を近接できる創では、創縁を合わせて治癒させる一次治癒が基本となる。

ウ：「代表的な病期区分の意味」は別の論点である。主な要点は「回復期は、急性期を脱して全身状態が一定程度安定し、機能回復や生活再建に向けた介入が中心となる時期を指す一般的な臨床概念である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「肉芽組織の構成と役割」は別の論点である。主な要点は「肉芽組織は血管新生と線維芽細胞の増殖を特徴とし、細胞外基質の形成を伴って組織修復の足場となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0073

病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「肉芽組織は血管新生と線維芽細胞の増殖を特徴とし、細胞外基質の形成を伴って組織修復の足場となる。」

ア．創傷治癒を遅延させる因子

イ．神経可塑性と機能回復の関係

ウ．肉芽組織の構成と役割

エ．一次治癒と二次治癒の違い

0074

病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「リモデリング期ではコラーゲンの分解と再構築が続き、瘢痕組織の構造や引張強度が時間をかけて変化する。」

ア．創傷治癒を遅延させる因子

イ．神経再生と機能回復を区別して説明

ウ．一次治癒と二次治癒の違い

エ．リモデリング期の変化

答え・解説

正答：ウ

ア：「創傷治癒を遅延させる因子」は別の論点である。主な要点は「感染、低酸素・血流不全、代謝異常などは創傷治癒を妨げる重要な因子であり、局所・全身の両面から管理する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「神経可塑性と機能回復の関係」は別の論点である。主な要点は「神経可塑性とは経験や損傷などに応じて神経系の結合や機能が変わる性質で、機能回復や代償に関与し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「肉芽組織の構成と役割」の要点を示している。肉芽組織は血管新生と線維芽細胞の増殖を特徴とし、細胞外基質の形成を伴って組織修復の足場となる。

エ：「一次治癒と二次治癒の違い」は別の論点である。主な要点は「組織欠損が小さく創縁を近接できる創では、創縁を合わせて治癒させる一次治癒が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「創傷治癒を遅延させる因子」は別の論点である。主な要点は「感染、低酸素・血流不全、代謝異常などは創傷治癒を妨げる重要な因子であり、局所・全身の両面から管理する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「神経再生と機能回復を区別して説明」は別の論点である。主な要点は「中枢神経損傷後の回復では、損傷部そのものの完全再生に限らず、残存回路の可塑的再編成や代償が機能改善に寄与し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「一次治癒と二次治癒の違い」は別の論点である。主な要点は「組織欠損が小さく創縁を近接できる創では、創縁を合わせて治癒させる一次治癒が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「リモデリング期の変化」の要点を示している。リモデリング期ではコラーゲンの分解と再構築が続き、瘢痕組織の構造や引張強度が時間をかけて変化する。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0075

病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：標準

「回復・再生・病期」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「神経可塑性とは経験や損傷などに応じて神経系の結合や機能が変化する性質で、機能回復や代償に関与し得る。」

ア．創傷治癒を遅延させる因子

イ．肉芽組織の構成と役割

ウ．創傷治癒の主要な段階

エ．神経可塑性と機能回復の関係

0076

病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「急性期の病態が安定した後、機能回復や生活機能の改善を重点的に図る時期。回復期は、急性期を脱して全身状態が一定程度安定し、機能回復や生活再建に向けた介入が中心となる時期を指す一般的な臨床概念である。」

ア．創傷治癒を遅延させる因子

イ．代表的な病期区分の意味

ウ．一次治癒と二次治癒の違い

エ．創傷治癒の主要な段階

答え・解説

正答：エ

ア：「創傷治癒を遅延させる因子」は別の論点である。主な要点は「感染、低酸素・血流不全、代謝異常などは創傷治癒を妨げる重要な因子であり、局所・全身の両面から管理する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「肉芽組織の構成と役割」は別の論点である。主な要点は「肉芽組織は血管新生と線維芽細胞の増殖を特徴とし、細胞外基質の形成を伴って組織修復の足場となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「創傷治癒の主要な段階」は別の論点である。主な要点は「創傷治癒は一般に止血、炎症、増殖、リモデリングという重なり合う段階を経て進行する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「神経可塑性と機能回復の関係」の要点を示している。神経可塑性とは経験や損傷などに応じて神経系の結合や機能が変化する性質で、機能回復や代償に関与し得る。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「創傷治癒を遅延させる因子」は別の論点である。主な要点は「感染、低酸素・血流不全、代謝異常などは創傷治癒を妨げる重要な因子であり、局所・全身の両面から管理する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「代表的な病期区分の意味」の要点を示している。急性期の病態が安定した後、機能回復や生活機能の改善を重点的に図る時期。回復期は、急性期を脱して全身状態が一定程度安定し、機能回復や生活再建に向けた介入が中心となる時期を指す一般的な臨床概念である。

ウ：「一次治癒と二次治癒の違い」は別の論点である。主な要点は「組織欠損が小さく創縁を近接できる創では、創縁を合わせて治癒させる一次治癒が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「創傷治癒の主要な段階」は別の論点である。主な要点は「創傷治癒は一般に止血、炎症、増殖、リモデリングという重なり合う段階を経て進行する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0077病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。

「中枢神経損傷後の回復では、損傷部そのものの完全再生に限らず、残存回路の可塑的再編成や代償が機能改善に寄与し得る。」

ア．創傷治癒の主要な段階
イ．リモデリング期の変化
ウ．神経再生と機能回復を区別して説明
エ．一次治癒と二次治癒の違い

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。

「感染、低酸素・血流不全、代謝異常などは創傷治癒を妨げる重要な因子であり、局所・全身の両面から管理する必要がある。」

ア．リモデリング期の変化
イ．肉芽組織の構成と役割
ウ．創傷治癒を遅延させる因子
エ．神経可塑性と機能回復の関係

答え・解説 正答：ウ

ア：「創傷治癒の主要な段階」は別の論点である。主な要点は「創傷治癒は一般に止血、炎症、増殖、リモデリングという重なり合う段階を経て進行する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「リモデリング期の変化」は別の論点である。主な要点は「リモデリング期ではコラーゲンの分解と再構築が続き、瘢痕組織の構造や引張強度が時間をかけて変化する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「神経再生と機能回復を区別して説明」の要点を示している。中枢神経損傷後の回復では、損傷部そのものの完全再生に限らず、残存回路の可塑的再編成や代償が機能改善に寄与し得る。

エ：「一次治癒と二次治癒の違い」は別の論点である。主な要点は「組織欠損が小さく創縁を近接できる創では、創縁を合わせて治癒させる一次治癒が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0078病態の基礎 > 回復・再生・病期 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。

「感染、低酸素・血流不全、代謝異常などは創傷治癒を妨げる重要な因子であり、局所・全身の両面から管理する必要がある。」

ア．リモデリング期の変化
イ．肉芽組織の構成と役割
ウ．創傷治癒を遅延させる因子
エ．神経可塑性と機能回復の関係

答え・解説 正答：ウ

ア：「リモデリング期の変化」は別の論点である。主な要点は「リモデリング期ではコラーゲンの分解と再構築が続き、瘢痕組織の構造や引張強度が時間をかけて変化する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「肉芽組織の構成と役割」は別の論点である。主な要点は「肉芽組織は血管新生と線維芽細胞の増殖を特徴とし、細胞外基質の形成を伴って組織修復の足場となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「創傷治癒を遅延させる因子」の要点を示している。感染、低酸素・血流不全、代謝異常などは創傷治癒を妨げる重要な因子であり、局所・全身の両面から管理する必要がある。

エ：「神経可塑性と機能回復の関係」は別の論点である。主な要点は「神経可塑性とは経験や損傷などに応じて神経系の結合や機能が変化する性質で、機能回復や代償に関与し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「回復・再生・病期」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0079病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「先天異常（birth defects）は出生時に存在する構造的・機能的な異常を含み、原因には遺伝的要因や環境要因などが関与し得る。」
ア．催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断
イ．Turner症候群の代表的核型
ウ．21トリソミーの染色体異常
エ．先天異常の基本概念

0080病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「先天性疾患がすべて遺伝性とは限らず、環境因子などによるものもある。先天性は「出生時に存在する」という時期の概念であり、遺伝性は遺伝情報に関連して伝わるという病因・伝達の概念である。」
ア．Turner症候群の代表的核型
イ．先天性と遺伝性
ウ．21トリソミーの染色体異常
エ．催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断

答え・解説 正答：エ

ア：「催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断」は別の論点である。主な要点は「催奇形性

イ：「Turner症候群の代表的核型」は別の論点である。主な要点は「Turner症候群ではX染色体の一方が全体または一部欠失する場合があり、代表的核型は45,Xである。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「21トリソミーの染色体異常」は別の論点である。主な要点は「Down症候群の多くは21番染色体が1本余分に存在する21トリソミーによる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「先天異常の基本概念」の要点を示している。先天異常（birth defects）は出生時に存在する構造的・機能的な異常を含み、原因には遺伝的要因や環境要因などが関与し得る。

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「Turner症候群の代表的核型」は別の論点である。主な要点は「Turner症候群ではX染色体の一方が全体または一部欠失する場合があり、代表的核型は45,Xである。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「先天性と遺伝性」の要点を示している。先天性疾患がすべて遺伝性とは限らず、環境因子などによるものもある。先天性は「出生時に存在する」という時期の概念であり、遺伝性は遺伝情報に関連して伝わるという病因・伝達の概念である。

ウ：「21トリソミーの染色体異常」は別の論点である。主な要点は「Down症候群の多くは21番染色体が1本余分に存在する21トリソミーによる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断」は別の論点である。主な要点は「催奇形性

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0081

病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「催奇形作用は曝露時期に大きく左右され、器官形成期は形成中の臓器の構造異常に対する感受性が高い時期である。」

ア．催奇形因子への曝露時期と発生異常の関係

イ．Turner症候群の代表的核型

ウ．ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式

エ．先天性と遺伝性

0082

病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「Down症候群の多くは21番染色体が1本余分に存在する21トリソミーによる。」

ア．21トリソミーの染色体異常

イ．催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断

ウ．先天性と遺伝性

エ．Turner症候群の代表的核型

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「催奇形因子への曝露時期と発生異常の関係」の要点を示している。催奇形作用は曝露時期に大きく左右され、器官形成期は形成中の臓器の構造異常に対する感受性が高い時期である。

イ：「Turner症候群の代表的核型」は別の論点である。主な要点は「Turner症候群ではX染色体の一方が全体または一部欠失する場合があり、代表的核型は45,Xである。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式」は別の論点である。主な要点は「ヒトのミトコンドリアDNAは原則として母系遺伝するため、母から男女双方の子へ伝わり得る一方、父からは通常伝わらない。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「先天性と遺伝性」は別の論点である。主な要点は「先天性は「出生時に存在する」という時期の概念であり、遺伝性は遺伝情報に関連して伝わるという病因・伝達の概念である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「21トリソミーの染色体異常」の要点を示している。Down症候群の多くは21番染色体が1本余分に存在する21トリソミーによる。

イ：「催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断」は別の論点である。主な要点は「催奇形性リスクは薬剤固有の性質だけでなく、用量、曝露時期、曝露期間、遺伝的感受性など複数の因子に左右される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「先天性と遺伝性」は別の論点である。主な要点は「先天性は「出生時に存在する」という時期の概念であり、遺伝性は遺伝情報に関連して伝わるという病因・伝達の概念である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Turner症候群の代表的核型」は別の論点である。主な要点は「Turner症候群ではX染色体の一方が全体または一部欠失する場合があり、代表的核型は45,Xである。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0083

病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：標準

「先天異常・遺伝性疾患」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「Turner症候群ではX染色体の一方が全体または一部欠失する場合があります、代表的核型は45,Xである。」
ア．先天性と遺伝性
イ．Turner症候群の代表的核型
ウ．催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断
エ．催奇形因子への曝露時期と発生異常の関係

0084

病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「罹患女性は子へ変異を伝え得るが、罹患男性から子へのミトコンドリアDNA伝達は通常みられない。ヒトのミトコンドリアDNAは原則として母系遺伝するため、母から男女双方の子へ伝わり得る一方、父からは通常伝わらない。」
ア．ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式
イ．催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断
ウ．眼裂閉鎖異常と眼先天異常の関係
エ．催奇形因子への曝露時期と発生異常の関係

答え・解説

正答：イ

ア：「先天性と遺伝性」は別の論点である。主な要点は「先天性は「出生時に存在する」という時期の概念であり、遺伝性は遺伝情報に関連して伝わるという病因・伝達概念である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「Turner症候群の代表的核型」の要点を示している。Turner症候群ではX染色体の一方が全体または一部欠失する場合があります、代表的核型は45,Xである。
ウ：「催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断」は別の論点である。主な要点は「催奇形性のリスクは薬剤固有の性質だけでなく、用量、曝露時期、曝露期間、遺伝的感受性など複数の因子に左右される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「催奇形因子への曝露時期と発生異常の関係」は別の論点である。主な要点は「催奇形作用は曝露時期に大きく左右され、器官形成期は形成中の臓器の構造異常に対する感受性が高い時期である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式」の要点を示している。罹患女性は子へ変異を伝え得るが、罹患男性から子へのミトコンドリアDNA伝達は通常みられない。ヒトのミトコンドリアDNAは原則として母系遺伝するため、母から男女双方の子へ伝わり得る一方、父からは通常伝わらない。
イ：「催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断」は別の論点である。主な要点は「催奇形性のリスクは薬剤固有の性質だけでなく、用量、曝露時期、曝露期間、遺伝的感受性など複数の因子に左右される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「眼裂閉鎖異常と眼先天異常の関係」は別の論点である。主な要点は「眼裂の閉鎖不全はコロバーマの発生機序に関係し、虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「催奇形因子への曝露時期と発生異常の関係」は別の論点である。主な要点は「催奇形作用は曝露時期に大きく左右され、器官形成期は形成中の臓器の構造異常に対する感受性が高い時期である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0085 病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「眼裂の閉鎖不全はコロボーマの発生機序に関係し、虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じ得る。」

ア．眼裂閉鎖異常と眼先天異常の関係

イ．催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断

ウ．Turner症候群の代表的核型

エ．ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式

0086 病態の基礎 > 先天異常・遺伝性疾患 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「催奇形性リスクは薬剤固有の性質だけでなく、用量、曝露時期、曝露期間、遺伝的感受性など複数の因子に左右される。」

ア．催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断

イ．ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式

ウ．先天異常の基本概念

エ．21トリソミーの染色体異常

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「眼裂閉鎖異常と眼先天異常の関係」の要点を示している。眼裂の閉鎖不全はコロボーマの発生機序に関係し、虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じ得る。

イ：「催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断」は別の論点である。主な要点は「催奇形性リスクは薬剤固有の性質だけでなく、用量、曝露時期、曝露期間、遺伝的感受性など複数の因子に左右される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Turner症候群の代表的核型」は別の論点である。主な要点は「Turner症候群ではX染色体の一方が全体または一部欠失する場合があり、代表的核型は45,Xである。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式」は別の論点である。主な要点は「ヒトのミトコンドリアDNAは原則として母系遺伝するため、母から男女双方の子へ伝わり得る一方、父からは通常伝わらない。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「催奇形作用が曝露量と発生時期に依存することを症例から判断」の要点を示している。催奇形性リスクは薬剤固有の性質だけでなく、用量、曝露時期、曝露期間、遺伝的感受性など複数の因子に左右される。

イ：「ミトコンドリア遺伝の基本的な伝達様式」は別の論点である。主な要点は「ヒトのミトコンドリアDNAは原則として母系遺伝するため、母から男女双方の子へ伝わり得る一方、父からは通常伝わらない。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「先天異常の基本概念」は別の論点である。主な要点は「先天異常（birth defects）は出生時に存在する構造的・機能的な異常を含み、原因には遺伝的要因や環境要因などが関与し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「21トリソミーの染色体異常」は別の論点である。主な要点は「Down症候群の多くは21番染色体が1本余分に存在する21トリソミーによる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「先天異常・遺伝性疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0087 全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「虚血性では血流遮断、出血性では血管破綻による出血が基本病態である。」

- ア．末梢神経障害の基本症候
- イ．虚血性脳卒中と出血性脳卒中の病態
- ウ．脊髄障害の基本的な局在
- エ．後頭葉病変と視野障害の関係

答え・解説 正答：イ

ア：「末梢神経障害の基本症候」は別の論点である。主な要点は「末梢神経は感覚・運動線維を含むため、障害部位に応じて感覚障害と筋力低下を組み合わせる生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「虚血性脳卒中と出血性脳卒中の病態」の要点を示している。虚血性では血流遮断、出血性では血管破綻による出血が基本病態である。
ウ：「脊髄障害の基本的な局在」は別の論点である。主な要点は「脊髄には下行性運動路、上行性感覚路、自律神経関連経路が走行するため、病変高位以下に複数機能の障害が生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「後頭葉病変と視野障害の関係」は別の論点である。主な要点は「視交叉より後方の片側視覚路障害では、病変側と反対側の同名性視野障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0088 全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「病変側と反対側の同名半盲。視交叉より後方の片側視覚路障害では、病変側と反対側の同名性視野障害を生じる。」

- ア．後頭葉病変と視野障害の関係
- イ．急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中
- ウ．虚血性脳卒中と出血性脳卒中の病態
- エ．外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「後頭葉病変と視野障害の関係」の要点を示している。病変側と反対側の同名半盲。視交叉より後方の片側視覚路障害では、病変側と反対側の同名性視野障害を生じる。
イ：「急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中」は別の論点である。主な要点は「突然の片麻痺と言語障害は脳卒中を強く疑う所見で、治療時間が予後に影響するため緊急評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「虚血性脳卒中と出血性脳卒中の病態」は別の論点である。主な要点は「虚血性では血流遮断、出血性では血管破綻による出血が基本病態である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷」は別の論点である。主な要点は「二次損傷は初回外力そのものではなく、その後に生じる浮腫、炎症、代謝異常などの反応で進行する障害を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0089

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「脳腫瘍では病変部位に応じた神経症状に加え、腫瘍や浮腫による頭蓋内圧亢進が症状に關与する。」

ア．脊髄障害の基本的な局在

イ．高次脳機能障害の失認

ウ．Parkinson病の主要病態

エ．脳腫瘍の症状が病変部位と頭蓋内圧に依存すること

0090

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「二次損傷は初回外力そのものではなく、その後に生じる浮腫、炎症、代謝異常などの反応で進行する障害を指す。」

ア．後頭葉病変と視野障害の關係

イ．Parkinson病の主要病態

ウ．末梢神経障害の基本症候

エ．外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷

答え・解説

正答：エ

ア：「脊髄障害の基本的な局在」は別の論点である。主な要点は「脊髄には下行性運動路、上行性感覚路、自律神経関連経路が走行するため、病変高位以下に複数機能の障害が生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「高次脳機能障害の失認」は別の論点である。主な要点は「視覚性失認では、基本的な視覚機能が比較的保たれていても、視覚刺激の意味や物体を認識できない。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Parkinson病の主要病態」は別の論点である。主な要点は「Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に關与する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「脳腫瘍の症状が病変部位と頭蓋内圧に依存すること」の要点を示している。脳腫瘍では病変部位に応じた神経症状に加え、腫瘍や浮腫による頭蓋内圧亢進が症状に關与する。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「後頭葉病変と視野障害の關係」は別の論点である。主な要点は「視交叉より後方の片側視覚路障害では、病変側と反対側の同名性視野障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「Parkinson病の主要病態」は別の論点である。主な要点は「Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に關与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「末梢神経障害の基本症候」は別の論点である。主な要点は「末梢神経は感覚・運動線維を含むため、障害部位に応じて感覚障害と筋力低下を組み合わせで生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷」の要点を示している。二次損傷は初回外力そのものではなく、その後に生じる浮腫、炎症、代謝異常などの反応で進行する障害を指す。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0091

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：標準

「脳・神経系疾患」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「末梢神経は感覚・運動線維を含むため、障害部位に応じて感覚障害と筋力低下を組み合わせで生じ得る。」
ア．Parkinson病の主要病態
イ．末梢神経障害の基本症候
ウ．虚血性脳卒中と出血性脳卒中の病態
エ．外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷

0092

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「中枢神経系の髄鞘が免疫介在性に障害され、視神経病変を伴うことがある。。多発性硬化症は中枢神経系の炎症性脱髄疾患で、脳・脊髄に加えて視神経も病変部位となり得る。」
ア．高次脳機能障害の失認
イ．後頭葉病変と視野障害の関係
ウ．多発性硬化症の脱髄病態
エ．脊髄障害の基本的な局在

答え・解説

正答：イ

ア：「Parkinson病の主要病態」は別の論点である。主な要点は「Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「末梢神経障害の基本症候」の要点を示している。末梢神経は感覚・運動線維を含むため、障害部位に応じて感覚障害と筋力低下を組み合わせで生じ得る。
ウ：「虚血性脳卒中と出血性脳卒中の病態」は別の論点である。主な要点は「虚血性では血流遮断、出血性では血管破綻による出血が基本病態である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷」は別の論点である。主な要点は「二次損傷は初回外力そのものではなく、その後に生じる浮腫、炎症、代謝異常などの反応で進行する障害を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「高次脳機能障害の失認」は別の論点である。主な要点は「視覚性失認では、基本的な視覚機能が比較的保たれていても、視覚刺激の意味や物体を認識できない。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「後頭葉病変と視野障害の関係」は別の論点である。主な要点は「視交叉より後方の片側視覚路障害では、病変側と反対側の同名性視野障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「多発性硬化症の脱髄病態」の要点を示している。中枢神経系の髄鞘が免疫介在性に障害され、視神経病変を伴うことがある。。多発性硬化症は中枢神経系の炎症性脱髄疾患で、脳・脊髄に加えて視神経も病変部位となり得る。
エ：「脊髄障害の基本的な局在」は別の論点である。主な要点は「脊髄には下行性運動路、上行性感覚路、自律神経関連経路が走行するため、病変高位以下に複数機能の障害が生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0093

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に關与する。」

ア．Parkinson病の主要病態

イ．急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中

ウ．脳腫瘍の症状が病変部位と頭蓋内圧に依存すること

エ．外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷

0094

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「視覚性失認では、基本的な視覚機能が比較的保たれていても、視覚刺激の意味や物体を認識できない。」

ア．外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷

イ．急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中

ウ．高次脳機能障害の失認

エ．Parkinson病の主要病態

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「Parkinson病の主要病態」の要点を示している。Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に關与する。

イ：「急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中」は別の論点である。主な要点は「突然の片麻痺と言語障害は脳卒中を強く疑う所見で、治療時間が予後に影響するため緊急評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「脳腫瘍の症状が病変部位と頭蓋内圧に依存すること」は別の論点である。主な要点は「脳腫瘍では病変部位に応じた神経症状に加え、腫瘍や浮腫による頭蓋内圧亢進が症状に關与する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷」は別の論点である。主な要点は「二次損傷は初回外力そのものではなく、その後に生じる浮腫、炎症、代謝異常などの反応で進行する障害を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：ウ

ア：「外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷」は別の論点である。主な要点は「二次損傷は初回外力そのものではなく、その後に生じる浮腫、炎症、代謝異常などの反応で進行する障害を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中」は別の論点である。主な要点は「突然の片麻痺と言語障害は脳卒中を強く疑う所見で、治療時間が予後に影響するため緊急評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「高次脳機能障害の失認」の要点を示している。視覚性失認では、基本的な視覚機能が比較的保たれていても、視覚刺激の意味や物体を認識できない。

エ：「Parkinson病の主要病態」は別の論点である。主な要点は「Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に關与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0095

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「脊髄には下行性運動路、上行性感覚路、自律神経関連経路が走行するため、病変高位以下に複数機能の障害が生じ得る。」

ア．急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中

イ．脊髄障害の基本的な局在

ウ．Parkinson病の主要病態

エ．外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷

0096

全身疾患 > 脳・神経系疾患 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「脳卒中を疑い、発症時刻を確認して直ちに救急医療につなげる。。突然の片麻痺と言語障害は脳卒中を強く疑う所見で、治療時間が予後に影響するため緊急評価が必要である。」

ア．急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中

イ．後頭葉病変と視野障害の関係

ウ．脊髄障害の基本的な局在

エ．Parkinson病の主要病態

答え・解説

正答：イ

ア：「急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中」は別の論点である。主な要点は「突然の片麻痺と言語障害は脳卒中を強く疑う所見で、治療時間が予後に影響するため緊急評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「脊髄障害の基本的な局在」の要点を示している。脊髄には下行性運動路、上行性感覚路、自律神経関連経路が走行するため、病変高位以下に複数機能の障害が生じ得る。

ウ：「Parkinson病の主要病態」は別の論点である。主な要点は「Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「外傷性脳損傷の一次損傷と二次損傷」は別の論点である。主な要点は「二次損傷は初回外力そのものではなく、その後に生じる浮腫、炎症、代謝異常などの反応で進行する障害を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「急性神経症状で緊急対応を要する脳卒中」の要点を示している。脳卒中を疑い、発症時刻を確認して直ちに救急医療につなげる。。突然の片麻痺と言語障害は脳卒中を強く疑う所見で、治療時間が予後に影響するため緊急評価が必要である。

イ：「後頭葉病変と視野障害の関係」は別の論点である。主な要点は「視交叉より後方の片側視覚路障害では、病変側と反対側の同名性視野障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「脊髄障害の基本的な局在」は別の論点である。主な要点は「脊髄には下行性運動路、上行性感覚路、自律神経関連経路が走行するため、病変高位以下に複数機能の障害が生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Parkinson病の主要病態」は別の論点である。主な要点は「Parkinson病では黒質のドパミン産生ニューロンが変性し、線条体へのドパミン入力低下が運動症状に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「脳・神経系疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0097

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「糖尿病では長期の高血糖が微小血管障害や神経障害などに関与し、網膜症・腎症・神経障害のリスクが高まる。」

ア．糖尿病の慢性合併症の基本

イ．動脈硬化による血流障害

ウ．免疫抑制状態と日和見感染の関係

エ．感染症と炎症反応の関係

0098

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「Graves病は自己免疫疾患で、甲状腺機能亢進に加えて眼窩組織への免疫反応による眼症を伴うことがある。」

ア．Graves病の自己免疫性

イ．動脈硬化による血流障害

ウ．全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断

エ．高血圧と血管障害の関係

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「糖尿病の慢性合併症の基本」の要点を示している。糖尿病では長期の高血糖が微小血管障害や神経障害などに関与し、網膜症・腎症・神経障害のリスクが高まる。

イ：「動脈硬化による血流障害」は別の論点である。主な要点は「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「免疫抑制状態と日和見感染の関係」は別の論点である。主な要点は「免疫機能が低下すると、健常者では問題になりにくい微生物でも感染症を起こす日和見感染のリスクが上がる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「感染症と炎症反応の関係」は別の論点である。主な要点は「感染では病原体自体の作用に加えて、自然免疫・獲得免疫による炎症反応が発熱、発赤、腫脹などの症状に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「Graves病の自己免疫性」の要点を示している。Graves病は自己免疫疾患で、甲状腺機能亢進に加えて眼窩組織への免疫反応による眼症を伴うことがある。

イ：「動脈硬化による血流障害」は別の論点である。主な要点は「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断」は別の論点である。主な要点は「自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「高血圧と血管障害の関係」は別の論点である。主な要点は「高血圧は血管壁への負荷を増し、脳卒中を含む心血管イベントの主要な危険因子となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0099

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：基礎

「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「高血圧は血管壁への負荷を増し、脳卒中を含む心血管イベントの主要な危険因子となる。」

ア．全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断

イ．自己免疫疾患の基本機序

ウ．Graves病の自己免疫性

エ．高血圧と血管障害の関係

0100

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「心房内で形成された血栓が脳動脈へ塞栓することがあるため。心房細動では血流うっ滞により心房内血栓が形成され、その血栓が脳動脈へ移動して塞栓性脳梗塞を起こすことがある。」

ア．全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断

イ．心房細動と脳塞栓症の関係

ウ．自己免疫疾患の基本機序

エ．I型アレルギーの基本

答え・解説

正答：エ

ア：「全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断」は別の論点である。主な要点は「自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「自己免疫疾患の基本機序」は別の論点である。主な要点は「自己免疫では自己抗原に対する免疫寛容が破綻し、自己抗体や自己反応性リンパ球などが組織障害に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Graves病の自己免疫性」は別の論点である。主な要点は「Graves病は自己免疫疾患で、甲状腺機能亢進に加えて眼窩組織への免疫反応による眼症を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「高血圧と血管障害の関係」の要点を示している。高血圧は血管壁への負荷を増し、脳卒中を含む心血管イベントの主要な危険因子となる。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断」は別の論点である。主な要点は「自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「心房細動と脳塞栓症の関係」の要点を示している。心房内で形成された血栓が脳動脈へ塞栓することがあるため。心房細動では血流うっ滞により心房内血栓が形成され、その血栓が脳動脈へ移動して塞栓性脳梗塞を起こすことがある。

ウ：「自己免疫疾患の基本機序」は別の論点である。主な要点は「自己免疫では自己抗原に対する免疫寛容が破綻し、自己抗体や自己反応性リンパ球などが組織障害に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「I型アレルギーの基本」は別の論点である。主な要点は「アレルギー性結膜炎などの即時型反応では、アレルゲン特異的IgEと肥満細胞からのメディエーター放出が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0101

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」
ア．全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断
イ．免疫抑制状態と日和見感染の関係
ウ．I型アレルギーの基本
エ．動脈硬化による血流障害

0102

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「自己免疫では自己抗原に対する免疫寛容が破綻し、自己抗体や自己反応性リンパ球などが組織障害に関与する。」
ア．動脈硬化による血流障害
イ．自己免疫疾患の基本機序
ウ．高血圧と血管障害の関係
エ．心房細動と脳塞栓症の関係

答え・解説

正答：エ

ア：「全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断」は別の論点である。主な要点は「自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「免疫抑制状態と日和見感染の関係」は別の論点である。主な要点は「免疫機能が低下すると、健常者では問題になりにくい微生物でも感染症を起こす日和見感染のリスクが上がる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「I型アレルギーの基本」は別の論点である。主な要点は「アレルギー性結膜炎などの即時型反応では、アレルゲン特異的IgEと肥満細胞からのメディエーター放出が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「動脈硬化による血流障害」の要点を示している。動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「動脈硬化による血流障害」は別の論点である。主な要点は「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「自己免疫疾患の基本機序」の要点を示している。自己免疫では自己抗原に対する免疫寛容が破綻し、自己抗体や自己反応性リンパ球などが組織障害に関与する。
ウ：「高血圧と血管障害の関係」は別の論点である。主な要点は「高血圧は血管壁への負荷を増し、脳卒中を含む心血管イベントの主要な危険因子となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「心房細動と脳塞栓症の関係」は別の論点である。主な要点は「心房細動では血流うっ滞により心房内血栓が形成され、その血栓が脳動脈へ移動して塞栓性脳梗塞を起こすことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0103

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「アレルギー性結膜炎などの即時型反応では、アレルギー特異的IgEと肥満細胞からのメディエーター放出が中心となる。」
ア．I型アレルギーの基本
イ．全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断
ウ．動脈硬化による血流障害
エ．免疫抑制状態と日和見感染の関係

0104

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「病原体に対する宿主の免疫応答が炎症症状の一部を形成する。。感染では病原体自体の作用に加えて、自然免疫・獲得免疫による炎症反応が発熱、発赤、腫脹などの症状に関与する。」
ア．動脈硬化による血流障害
イ．感染症と炎症反応の関係
ウ．Graves病の自己免疫性
エ．I型アレルギーの基本

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「I型アレルギーの基本」の要点を示している。アレルギー性結膜炎などの即時型反応では、アレルギー特異的IgEと肥満細胞からのメディエーター放出が中心となる。
イ：「全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断」は別の論点である。主な要点は「自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「動脈硬化による血流障害」は別の論点である。主な要点は「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「免疫抑制状態と日和見感染の関係」は別の論点である。主な要点は「免疫機能が低下すると、健常者では問題になりにくい微生物でも感染症を起こす日和見感染のリスクが上がる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「動脈硬化による血流障害」は別の論点である。主な要点は「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「感染症と炎症反応の関係」の要点を示している。病原体に対する宿主の免疫応答が炎症症状の一部を形成する。。感染では病原体自体の作用に加えて、自然免疫・獲得免疫による炎症反応が発熱、発赤、腫脹などの症状に関与する。
ウ：「Graves病の自己免疫性」は別の論点である。主な要点は「Graves病は自己免疫疾患で、甲状腺機能亢進に加えて眼窩組織への免疫反応による眼症を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「I型アレルギーの基本」は別の論点である。主な要点は「アレルギー性結膜炎などの即時型反応では、アレルギー特異的IgEと肥満細胞からのメディエーター放出が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0105

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「免疫機能が低下すると、健常者では問題になりにくい微生物でも感染症を起こす日和見感染のリスクが上がる。」

ア．動脈硬化による血流障害

イ．全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断

ウ．免疫抑制状態と日和見感染の関係

エ．糖尿病の慢性合併症の基本

0106

全身疾患 > 代謝・内分泌・循環・免疫・感染 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。」

ア．I型アレルギーの基本

イ．動脈硬化による血流障害

ウ．全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断

エ．Graves病の自己免疫性

答え・解説

正答：ウ

ア：「動脈硬化による血流障害」は別の論点である。主な要点は「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断」は別の論点である。主な要点は「自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「免疫抑制状態と日和見感染の関係」の要点を示している。免疫機能が低下すると、健常者では問題になりにくい微生物でも感染症を起こす日和見感染のリスクが上がる。

エ：「糖尿病の慢性合併症の基本」は別の論点である。主な要点は「糖尿病では長期の高血糖が微細血管障害や神経障害などに関与し、網膜症・腎症・神経障害のリスクが高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「I型アレルギーの基本」は別の論点である。主な要点は「アレルギー性結膜炎などの即時型反応では、アレルゲン特異的IgEと肥満細胞からのメディエーター放出が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「動脈硬化による血流障害」は別の論点である。主な要点は「動脈硬化では血管壁に脂質などが蓄積し、内腔狭窄やプラーク破綻・血栓形成を通じて虚血性疾患の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「全身炎症性疾患が眼病変を伴うことを統合して判断」の要点を示している。自己免疫疾患はぶどう膜炎の原因となり得る。

エ：「Graves病の自己免疫性」は別の論点である。主な要点は「Graves病は自己免疫疾患で、甲状腺機能亢進に加えて眼窩組織への免疫反応による眼症を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「代謝・内分泌・循環・免疫・感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0107

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：基礎

「小児・老年・精神神経・運動器」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「自閉スペクトラム症は神経発達症で、社会的相互作用・コミュニケーションや行動パターンに多様な特徴を示す。」

ア．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

イ．高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性

ウ．自閉スペクトラム症の基本概念

エ．小児の神経疾患では発達評価が重要であること

0108

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「年齢に応じた発達段階と、獲得済み機能の変化を確認する。。小児では正常発達の幅を踏まえ、運動・言語・認知・社会性などの発達経過や退行の有無を評価することが重要である。」

ア．自閉スペクトラム症の基本概念

イ．小児の神経疾患では発達評価が重要であること

ウ．統合失調症の基本概念

エ．骨粗鬆症の病態

答え・解説

正答：ウ

ア：「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性」は別の論点である。主な要点は「高齢者の認知変化には認知症だけでなく、感染、薬剤副作用、代謝・内分泌異常、せん妄、うつなど治療可能な原因が含まれる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「自閉スペクトラム症の基本概念」の要点を示している。自閉スペクトラム症は神経発達症で、社会的相互作用・コミュニケーションや行動パターンに多様な特徴を示す。

エ：「小児の神経疾患では発達評価が重要であること」は別の論点である。主な要点は「小児では正常発達の幅を踏まえ、運動・言語・認知・社会性などの発達経過や退行の有無を評価することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：イ

ア：「自閉スペクトラム症の基本概念」は別の論点である。主な要点は「自閉スペクトラム症は神経発達症で、社会的相互作用・コミュニケーションや行動パターンに多様な特徴を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「小児の神経疾患では発達評価が重要であること」の要点を示している。年齢に応じた発達段階と、獲得済み機能の変化を確認する。。小児では正常発達の幅を踏まえ、運動・言語・認知・社会性などの発達経過や退行の有無を評価することが重要である。

ウ：「統合失調症の基本概念」は別の論点である。主な要点は「統合失調症は精神病症状、認知機能・意欲の変化などを通じて思考や行動、社会機能に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「骨粗鬆症の病態」は別の論点である。主な要点は「骨粗鬆症は骨量や骨質の低下により骨強度が低下し、軽微な外力でも骨折しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0109

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。

「フレイルは加齢に伴う予備能低下により、軽微なストレスでも機能低下を起こしやすい可逆性を含む脆弱状態として捉えられる。」

ア．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

イ．認知症と正常加齢

ウ．高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性

エ．フレイルの概念

0110

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。

「認知症は記憶・思考・判断などの認知機能低下が日常生活機能を障害する状態で、単なる年齢相応の物忘れとは区別される。」

ア．認知症と正常加齢

イ．フレイルの概念

ウ．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

エ．小児の神経疾患では発達評価が重要であること

答え・解説

正答：エ

ア：「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「認知症と正常加齢」は別の論点である。主な要点は「認知症は記憶・思考・判断などの認知機能低下が日常生活機能を障害する状態で、単なる年齢相応の物忘れとは区別される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性」は別の論点である。主な要点は「高齢者の認知変化には認知症だけでなく、感染、薬剤副作用、代謝・内分泌異常、せん妄、うつなど治療可能な原因が含まれる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「フレイルの概念」の要点を示している。フレイルは加齢に伴う予備能低下により、軽微なストレスでも機能低下を起こしやすい可逆性を含む脆弱状態として捉えられる。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「認知症と正常加齢」の要点を示している。認知症は記憶・思考・判断などの認知機能低下が日常生活機能を障害する状態で、単なる年齢相応の物忘れとは区別される。

イ：「フレイルの概念」は別の論点である。主な要点は「フレイルは加齢に伴う予備能低下により、軽微なストレスでも機能低下を起こしやすい可逆性を含む脆弱状態として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「小児の神経疾患では発達評価が重要であること」は別の論点である。主な要点は「小児では正常発達の幅を踏まえ、運動・言語・認知・社会性などの発達経過や退行の有無を評価することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0111

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「せん妄は急性発症し、注意・意識の変動を特徴とする。」

ア．小児の神経疾患では発達評価が重要であること

イ．フレイルの概念

ウ．せん妄と認知症の時間経過

エ．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

0112

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「思考・知覚・感情・行動に影響し、現実検討が障害されることがある精神疾患である。。統合失調症は精神病症状、認知機能・意欲の変化などを通じて思考や行動、社会機能に影響する。」

ア．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

イ．高齢者の急な認知変化では可逆の原因を検索する必要性

ウ．統合失調症の基本概念

エ．小児の神経疾患では発達評価が重要であること

答え・解説

正答：ウ

ア：「小児の神経疾患では発達評価が重要であること」は別の論点である。主な要点は「小児では正常発達の幅を踏まえ、運動・言語・認知・社会性などの発達経過や退行の有無を評価することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「フレイルの概念」は別の論点である。主な要点は「フレイルは加齢に伴う予備能低下により、軽微なストレスでも機能低下を起こしやすい可逆性を含む脆弱状態として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「せん妄と認知症の時間経過」の要点を示している。せん妄は急性発症し、注意・意識の変動を特徴とする。
エ：「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「高齢者の急な認知変化では可逆の原因を検索する必要性」は別の論点である。主な要点は「高齢者の認知変化には認知症だけでなく、感染、薬剤副作用、代謝・内分泌異常、せん妄、うつなど治療可能な原因が含まれる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「統合失調症の基本概念」の要点を示している。思考・知覚・感情・行動に影響し、現実検討が障害されることがある精神疾患である。。統合失調症は精神病症状、認知機能・意欲の変化などを通じて思考や行動、社会機能に影響する。
エ：「小児の神経疾患では発達評価が重要であること」は別の論点である。主な要点は「小児では正常発達の幅を踏まえ、運動・言語・認知・社会性などの発達経過や退行の有無を評価することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0113

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「うつ病は気分だけでなく、睡眠・食欲・認知・活動性など幅広い機能へ影響し、日常生活の支障を生じ得る。」

ア．うつ病の基本症候と身体・認知機能への影響

イ．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

ウ．フレイルの概念

エ．骨粗鬆症の病態

0114

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「骨粗鬆症は骨量や骨質の低下により骨強度が低下し、軽微な外力でも骨折しやすくなる。」

ア．骨粗鬆症の病態

イ．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

ウ．高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性

エ．小児の神経疾患では発達評価が重要であること

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「うつ病の基本症候と身体・認知機能への影響」の要点を示している。うつ病は気分だけでなく、睡眠・食欲・認知・活動性など幅広い機能へ影響し、日常生活の支障を生じ得る。

イ：「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「フレイルの概念」は別の論点である。主な要点は「フレイルは加齢に伴う予備能低下により、軽微なストレスでも機能低下を起こしやすい可逆性を含む脆弱状態として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「骨粗鬆症の病態」は別の論点である。主な要点は「骨粗鬆症は骨量や骨質の低下により骨強度が低下し、軽微な外力でも骨折しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「骨粗鬆症の病態」の要点を示している。骨粗鬆症は骨量や骨質の低下により骨強度が低下し、軽微な外力でも骨折しやすくなる。

イ：「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性」は別の論点である。主な要点は「高齢者の認知変化には認知症だけでなく、感染、薬剤副作用、代謝・内分泌異常、せん妄、うつなど治療可能な原因が含まれる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「小児の神経疾患では発達評価が重要であること」は別の論点である。主な要点は「小児では正常発達の幅を踏まえ、運動・言語・認知・社会性などの発達経過や退行の有無を評価することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0115

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：標準

「小児・老年・精神神経・運動器」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。」

ア．自閉スペクトラム症の基本概念

イ．筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点

ウ．フレイルの概念

エ．統合失調症の基本概念

0116

全身疾患 > 小児・老年・精神神経・運動器 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「感染、薬剤、代謝・内分泌異常、せん妄など可逆的原因も含めて評価する。。高齢者の認知変化には認知症だけでなく、感染、薬剤副作用、代謝・内分泌異常、せん妄、うつなど治療可能な原因が含まれる。」

ア．骨粗鬆症の病態

イ．統合失調症の基本概念

ウ．高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性

エ．自閉スペクトラム症の基本概念

答え・解説

正答：イ

ア：「自閉スペクトラム症の基本概念」は別の論点である。主な要点は「自閉スペクトラム症は神経発達症で、社会的相互作用・コミュニケーションや行動パターンに多様な特徴を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「筋原性疾患と神経原性疾患を区別する視点」の要点を示している。筋原性疾患では骨格筋自体の構造・代謝・炎症などの異常が主病変となり、筋力低下をきたす。

ウ：「フレイルの概念」は別の論点である。主な要点は「フレイルは加齢に伴う予備能低下により、軽微なストレスでも機能低下を起こしやすい可逆性を含む脆弱状態として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「統合失調症の基本概念」は別の論点である。主な要点は「統合失調症は精神病症状、認知機能・意欲の変化などを通じて思考や行動、社会機能に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「骨粗鬆症の病態」は別の論点である。主な要点は「骨粗鬆症は骨量や骨質の低下により骨強度が低下し、軽微な外力でも骨折しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「統合失調症の基本概念」は別の論点である。主な要点は「統合失調症は精神病症状、認知機能・意欲の変化などを通じて思考や行動、社会機能に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「高齢者の急な認知変化では可逆的原因を検索する必要性」の要点を示している。感染、薬剤、代謝・内分泌異常、せん妄など可逆的原因も含めて評価する。。高齢者の認知変化には認知症だけでなく、感染、薬剤副作用、代謝・内分泌異常、せん妄、うつなど治療可能な原因が含まれる。

エ：「自閉スペクトラム症の基本概念」は別の論点である。主な要点は「自閉スペクトラム症は神経発達症で、社会的相互作用・コミュニケーションや行動パターンに多様な特徴を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「小児・老年・精神神経・運動器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0117

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」

ア．眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断

イ．視神経萎縮の意味

ウ．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害

エ．角膜上皮損傷と治癒

0118

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「角膜の透明性は規則的な実質構造などに依存する。」

ア．角膜混濁と瘢痕の病理

イ．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害

ウ．眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断

エ．外眼筋麻痺の病態を神経支配と関連付けられる

答え・解説

正答：エ

ア：「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断」は別の論点である。主な要点は「急性の片眼視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛は視神経炎を示唆し、透明な前眼部所見とも整合する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視神経萎縮の意味」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「角膜上皮損傷と治癒」の要点を示している。角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「角膜混濁と瘢痕の病理」の要点を示している。角膜の透明性は規則的な実質構造などに依存する。

イ：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断」は別の論点である。主な要点は「急性の片眼視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛は視神経炎を示唆し、透明な前眼部所見とも整合する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「外眼筋麻痺の病態を神経支配と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「外直筋は第Ⅵ脳神経である外転神経に支配され、麻痺すると外転障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0119 眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「角膜炎は角膜の炎症で、感染性・非感染性の原因がある。」

ア．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害

イ．眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断

ウ．視神経萎縮の意味

エ．角膜炎の基本病態

0120 眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「水晶体またはその被膜の混濁。白内障は本来透明な水晶体が混濁する病態で、光の透過・結像を妨げる。」

ア．角膜上皮損傷と治癒

イ．眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断

ウ．白内障の病理学的本態

エ．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害

答え・解説 正答：エ

ア：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断」は別の論点である。主な要点は「急性の片眼視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛は視神経炎を示唆し、透明な前眼部所見とも整合する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視神経萎縮の意味」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「角膜炎の基本病態」の要点を示している。角膜炎は角膜の炎症で、感染性・非感染性の原因がある。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断」は別の論点である。主な要点は「急性の片眼視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛は視神経炎を示唆し、透明な前眼部所見とも整合する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「白内障の病理学的本態」の要点を示している。水晶体またはその被膜の混濁。白内障は本来透明な水晶体が混濁する病態で、光の透過・結像を妨げる。

エ：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0121

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「裂孔原性網膜剥離では網膜裂孔を通して液体が網膜下に入り、感覚網膜が下層から剥離する。」

ア．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害

イ．網膜剥離の解剖学的病態

ウ．視神経萎縮の意味

エ．角膜上皮損傷と治癒

0122

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「眼瞼縁炎症やマイボーム腺機能異常は涙液の質に影響し、乾燥感・異物感・充血など眼表面症状につながる。」

ア．視神経萎縮の意味

イ．角膜上皮損傷と治癒

ウ．眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断

エ．眼瞼炎の病理と眼表面への影響

答え・解説

正答：イ

ア：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「網膜剥離の解剖学的病態」の要点を示している。裂孔原性網膜剥離では網膜裂孔を通して液体が網膜下に入り、感覚網膜が下層から剥離する。

ウ：「視神経萎縮の意味」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：エ

ア：「視神経萎縮の意味」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断」は別の論点である。主な要点は「急性の片眼視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛は視神経炎を示唆し、透明な前眼部所見とも整合する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼瞼炎の病理と眼表面への影響」の要点を示している。眼瞼縁炎症やマイボーム腺機能異常は涙液の質に影響し、乾燥感・異物感・充血など眼表面症状につながる。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0123

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：標準

「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」
ア．視神経萎縮の意味
イ．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害
ウ．角膜上皮損傷と治癒
エ．角膜炎の基本病態

0124

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「外直筋は第Ⅵ脳神経である外転神経に支配され、麻痺すると外転障害を生じる。」
ア．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害
イ．角膜上皮損傷と治癒
ウ．角膜混濁と瘢痕の病理
エ．外眼筋麻痺の病態を神経支配と関連付けられる

答え・解説

正答：イ

ア：「視神経萎縮の意味」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」の要点を示している。涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。
ウ：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「角膜炎の基本病態」は別の論点である。主な要点は「角膜炎は角膜の炎症で、感染性・非感染性の原因がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「角膜混濁と瘢痕の病理」は別の論点である。主な要点は「角膜の透明性は規則的な実質構造などに依存する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「外眼筋麻痺の病態を神経支配と関連付けられる」の要点を示している。外直筋は第Ⅵ脳神経である外転神経に支配され、麻痺すると外転障害を生じる。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0125

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「Graves眼症では自己免疫性炎症により外眼筋・眼窩結合組織が腫脹し、眼位や眼球運動が障害されて複視を生じる。」
ア．角膜上皮損傷と治癒
イ．視神経萎縮の意味
ウ．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害
エ．甲状腺眼症における外眼筋・眼窩組織の病変

0126

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「視神経炎では視神経の炎症・脱髄が起こり、視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛などを伴うことがある。」
ア．角膜上皮損傷と治癒
イ．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害
ウ．外眼筋麻痺の病態を神経支配と関連付けられる
エ．視神経炎の基本病理

答え・解説

正答：エ

ア：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「視神経萎縮の意味」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「甲状腺眼症における外眼筋・眼窩組織の病変」の要点を示している。Graves眼症では自己免疫性炎症により外眼筋・眼窩結合組織が腫脹し、眼位や眼球運動が障害されて複視を生じる。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「外眼筋麻痺の病態を神経支配と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「外直筋は第Ⅵ脳神経である外転神経に支配され、麻痺すると外転障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「視神経炎の基本病理」の要点を示している。視神経炎では視神経の炎症・脱髄が起こり、視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛などを伴うことがある。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0127

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。」

ア．角膜上皮損傷と治癒

イ．涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害

ウ．甲状腺眼症における外眼筋・眼窩組織の病変

エ．視神経萎縮の意味

0128

眼病理・眼と全身 > 眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。
「急性の片眼視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛は視神経炎を示唆し、透明な前眼部所見とも整合する。」

ア．角膜上皮損傷と治癒

イ．角膜混濁と瘢痕の病理

ウ．白内障の病理学的本態

エ．眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断

答え・解説

正答：エ

ア：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「涙液不足・涙液不安定化による眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液の量・質・安定性の異常は眼表面の乾燥、炎症、上皮障害、視機能変動を引き起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「甲状腺眼症における外眼筋・眼窩組織の病変」は別の論点である。主な要点は「Graves眼症では自己免疫性炎症により外眼筋・眼窩結合組織が腫脹し、眼位や眼球運動が障害されて複視を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視神経萎縮の意味」の要点を示している。視神経乳頭の蒼白化は、軸索喪失・グリア変化を反映する視神経萎縮の重要所見である。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「角膜上皮損傷と治癒」は別の論点である。主な要点は「角膜上皮には修復能力があり、浅い上皮欠損は適切な条件下で再上皮化する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「角膜混濁と瘢痕の病理」は別の論点である。主な要点は「角膜の透明性は規則的な実質構造などに依存する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「白内障の病理学的本態」は別の論点である。主な要点は「白内障は本来透明な水晶体が混濁する病態で、光の透過・結像を妨げる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病変から障害部位を統合判断」の要点を示している。急性の片眼視力低下、色覚低下、中心暗点、眼球運動痛は視神経炎を示唆し、透明な前眼部所見とも整合する。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・外眼筋・視神経の病理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0129 眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「眼では血液眼関門や局所免疫調節などにより過度な炎症を抑える仕組みが働き、視機能を守っている。」

ア．ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる

イ．眼の免疫特性

ウ．遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由

エ．網膜芽細胞腫の遺伝学的背景

0130 眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「血液網膜関門は網膜血管内皮や網膜色素上皮の密着結合などにより、物質移動を選択的に制御する。」

ア．遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由

イ．免疫反応が眼組織障害につながる

ウ．ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる

エ．血液網膜関門の機能

答え・解説 正答：イ

ア：「ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「眼の免疫特性」の要点を示している。眼では血液眼関門や局所免疫調節などにより過度な炎症を抑える仕組みが働き、視機能を守っている。

ウ：「遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由」は別の論点である。主な要点は「遺伝性眼疾患では遺伝形式や原因遺伝子により本人・家族のリスクや治療選択が変わるため、適切な遺伝学的評価が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「網膜芽細胞腫の遺伝学的背景」は別の論点である。主な要点は「網膜芽細胞腫は乳幼児に多い網膜の悪性腫瘍で、RB1遺伝子異常を背景とする遺伝性例と非遺伝性例がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由」は別の論点である。主な要点は「遺伝性眼疾患では遺伝形式や原因遺伝子により本人・家族のリスクや治療選択が変わるため、適切な遺伝学的評価が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「免疫反応が眼組織障害につながる」は別の論点である。主な要点は「免疫反応は感染防御に重要だが、過剰な炎症では血管透過性亢進や組織障害が生じ、網膜・ぶどう膜・硝子体などの機能を損なう。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「血液網膜関門の機能」の要点を示している。血液網膜関門は網膜血管内皮や網膜色素上皮の密着結合などにより、物質移動を選択的に制御する。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0131

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：基礎

「眼の免疫・遺伝」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「ぶどう膜炎は自己免疫性、感染性、外傷性など多様な原因があり、原因不明のこともある。」

ア．遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由

イ．ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる

ウ．ぶどう膜炎の原因として免疫性・感染性があること

エ．網膜芽細胞腫の遺伝学的背景

0132

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「アレルゲン特異的IgEを介した肥満細胞活性化が関与する。。典型的な季節性アレルギー性結膜炎では型アレルギーが中心で、肥満細胞からヒスタミンなどが放出される。」

ア．遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由

イ．アレルギー性結膜炎の免疫機序

ウ．ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる

エ．免疫と遺伝の相互作用を眼疾患で統合して説明

答え・解説

正答：ウ

ア：「遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由」は別の論点である。主な要点は「遺伝性眼疾患では遺伝形式や原因遺伝子により本人・家族のリスクや治療選択が変わるため、適切な遺伝学的評価が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「ぶどう膜炎の原因として免疫性・感染性があること」の要点を示している。ぶどう膜炎は自己免疫性、感染性、外傷性など多様な原因があり、原因不明のこともある。

エ：「網膜芽細胞腫の遺伝学的背景」は別の論点である。主な要点は「網膜芽細胞腫は乳幼児に多い網膜の悪性腫瘍で、RB1遺伝子異常を背景とする遺伝性例と非遺伝性例がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：イ

ア：「遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由」は別の論点である。主な要点は「遺伝性眼疾患では遺伝形式や原因遺伝子により本人・家族のリスクや治療選択が変わるため、適切な遺伝学的評価が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「アレルギー性結膜炎の免疫機序」の要点を示している。アレルゲン特異的IgEを介した肥満細胞活性化が関与する。。典型的な季節性アレルギー性結膜炎では型アレルギーが中心で、肥満細胞からヒスタミンなどが放出される。

ウ：「ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「免疫と遺伝の相互作用を眼疾患で統合して説明」は別の論点である。主な要点は「多くの自己免疫疾患は単一原因ではなく、遺伝的背景と感染・喫煙など環境要因が免疫応答を変化させて発症に関与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0133

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「免疫反応は感染防御に重要だが、過剰な炎症では血管透過性亢進や組織障害が生じ、網膜・ぶどう膜・硝子体などの機能を損なう。」
ア．血液網膜関門の機能
イ．免疫反応が眼組織障害につながる事
ウ．網膜色素変性の遺伝的多様性
エ．網膜芽細胞腫の遺伝学的背景

0134

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「網膜色素変性は遺伝的に多様な疾患群で、常染色体優性・劣性・X連鎖など複数の遺伝形式がある。」
ア．免疫反応が眼組織障害につながる事
イ．網膜色素変性の遺伝的多様性
ウ．眼の免疫特性
エ．ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる

答え・解説

正答：イ

ア：「血液網膜関門の機能」は別の論点である。主な要点は「血液網膜関門は網膜血管内皮や網膜色素上皮の密着結合などにより、物質移動を選択的に制御する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「免疫反応が眼組織障害につながる事」の要点を示している。免疫反応は感染防御に重要だが、過剰な炎症では血管透過性亢進や組織障害が生じ、網膜・ぶどう膜・硝子体などの機能を損なう。
ウ：「網膜色素変性の遺伝的多様性」は別の論点である。主な要点は「網膜色素変性は遺伝的に多様な疾患群で、常染色体優性・劣性・X連鎖など複数の遺伝形式がある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「網膜芽細胞腫の遺伝学的背景」は別の論点である。主な要点は「網膜芽細胞腫は乳幼児に多い網膜の悪性腫瘍で、RB1遺伝子異常を背景とする遺伝性例と非遺伝性例がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「免疫反応が眼組織障害につながる事」は別の論点である。主な要点は「免疫反応は感染防御に重要だが、過剰な炎症では血管透過性亢進や組織障害が生じ、網膜・ぶどう膜・硝子体などの機能を損なう。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「網膜色素変性の遺伝的多様性」の要点を示している。網膜色素変性は遺伝的に多様な疾患群で、常染色体優性・劣性・X連鎖など複数の遺伝形式がある。
ウ：「眼の免疫特性」は別の論点である。主な要点は「眼では血液眼関門や局所免疫調節などにより過度な炎症を抑える仕組みが働き、視機能を守っている。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0135

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「網膜芽細胞腫は乳幼児に多い網膜の悪性腫瘍で、RB1遺伝子異常を背景とする遺伝性例と非遺伝性例がある。」

ア．免疫反応が眼組織障害につながること

イ．網膜芽細胞腫の遺伝学的背景

ウ．ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる

エ．遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由

0136

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。」

ア．ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる

イ．血液網膜関門の機能

ウ．免疫反応が眼組織障害につながること

エ．アレルギー性結膜炎の免疫機序

答え・解説

正答：イ

ア：「免疫反応が眼組織障害につながること」は別の論点である。主な要点は「免疫反応は感染防御に重要だが、過剰な炎症では血管透過性亢進や組織障害が生じ、網膜・ぶどう膜・硝子体などの機能を損なう。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「網膜芽細胞腫の遺伝学的背景」の要点を示している。網膜芽細胞腫は乳幼児に多い網膜の悪性腫瘍で、RB1遺伝子異常を背景とする遺伝性例と非遺伝性例がある。

ウ：「ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる」は別の論点である。主な要点は「ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由」は別の論点である。主な要点は「遺伝性眼疾患では遺伝形式や原因遺伝子により本人・家族のリスクや治療選択が変わるため、適切な遺伝学的評価が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「ミトコンドリア遺伝の特徴を眼疾患と関連付けられる」の要点を示している。ミトコンドリアDNAは通常母親由来で受け継がれるため、ミトコンドリア病では母系遺伝が基本となる。

イ：「血液網膜関門の機能」は別の論点である。主な要点は「血液網膜関門は網膜血管内皮や網膜色素上皮の密着結合などにより、物質移動を選択的に制御する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「免疫反応が眼組織障害につながること」は別の論点である。主な要点は「免疫反応は感染防御に重要だが、過剰な炎症では血管透過性亢進や組織障害が生じ、網膜・ぶどう膜・硝子体などの機能を損なう。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「アレルギー性結膜炎の免疫機序」は別の論点である。主な要点は「典型的な季節性アレルギー性結膜炎では型アレルギーが中心で、肥満細胞からヒスタミンなどが放出される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0137

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「遺伝性眼疾患では遺伝形式や原因遺伝子により本人・家族のリスクや治療選択が変わるため、適切な遺伝学的評価が重要である。」

ア．遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由

イ．血液網膜関門の機能

ウ．アレルギー性結膜炎の免疫機序

エ．眼の免疫特性

0138

眼病理・眼と全身 > 眼の免疫・遺伝 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「多くの自己免疫疾患は単一原因ではなく、遺伝的背景と感染・喫煙など環境要因が免疫応答を変化させて発症に関与する。」

ア．血液網膜関門の機能

イ．アレルギー性結膜炎の免疫機序

ウ．免疫反応が眼組織障害につながる

エ．免疫と遺伝の相互作用を眼疾患で統合して説明

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「遺伝性眼疾患で遺伝カウンセリングが重要な理由」の要点を示している。遺伝性眼疾患では遺伝形式や原因遺伝子により本人・家族のリスクや治療選択が変わるため、適切な遺伝学的評価が重要である。

イ：「血液網膜関門の機能」は別の論点である。主な要点は「血液網膜関門は網膜血管内皮や網膜色素上皮の密着結合などにより、物質移動を選択的に制御する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「アレルギー性結膜炎の免疫機序」は別の論点である。主な要点は「典型的な季節性アレルギー性結膜炎ではI型アレルギーが中心で、肥満細胞からヒスタミンなどが放出される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「眼の免疫特性」は別の論点である。主な要点は「眼では血液眼関門や局所免疫調節などにより過度な炎症を抑える仕組みが働き、視機能を守っている。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：エ

ア：「血液網膜関門の機能」は別の論点である。主な要点は「血液網膜関門は網膜血管内皮や網膜色素上皮の密着結合などにより、物質移動を選択的に制御する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「アレルギー性結膜炎の免疫機序」は別の論点である。主な要点は「典型的な季節性アレルギー性結膜炎ではI型アレルギーが中心で、肥満細胞からヒスタミンなどが放出される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「免疫反応が眼組織障害につながる」は別の論点である。主な要点は「免疫反応は感染防御に重要だが、過剰な炎症では血管透過性亢進や組織障害が生じ、網膜・ぶどう膜・硝子体などの機能を損なう。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「免疫と遺伝の相互作用を眼疾患で統合して説明」の要点を示している。多くの自己免疫疾患は単一原因ではなく、遺伝的背景と感染・喫煙など環境要因が免疫応答を変化させて発症に関与する。

総合解説：この問題は「眼の免疫・遺伝」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0139 眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：基礎

「全身疾患と眼・再生医療」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「糖尿病では網膜血管が障害され、糖尿病網膜症や黄斑浮腫などが生じ得る。」

ア．全身血管炎が視神経虚血につながる事
イ．神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること
ウ．細胞移植治療の安全性課題
エ．糖尿病と眼合併症の関係

0140 眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「網膜細動脈の狭細化など、全身の血管障害を反映する所見がみられることがある。。網膜血管は直接観察できるため、高血圧性細動脈硬化など全身血管障害の一部を眼底所見として捉えられる。」

ア．細胞移植治療の安全性課題
イ．高血圧と網膜血管所見
ウ．再生医療における幹細胞の分化能
エ．Graves眼症の全身疾患との関連

答え・解説 正答：エ

ア：「全身血管炎が視神経虚血につながる事」は別の論点である。主な要点は「巨細胞性動脈炎は短後毛様動脈系などを障害し、急激で高度な視力低下を来す動脈炎性前部虚血性視神経症を起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること」は別の論点である。主な要点は「易疲労性の眼瞼下垂・複視と瞳孔温存は、重症筋無力症など神経筋接合部障害を示唆する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「細胞移植治療の安全性課題」は別の論点である。主な要点は「再生医療では細胞製品の純度・同一性・機能に加え、未分化細胞残存や腫瘍化、免疫拒絶などの安全性評価が不可欠である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「糖尿病と眼合併症の関係」の要点を示している。糖尿病では網膜血管が障害され、糖尿病網膜症や黄斑浮腫などが生じ得る。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「細胞移植治療の安全性課題」は別の論点である。主な要点は「再生医療では細胞製品の純度・同一性・機能に加え、未分化細胞残存や腫瘍化、免疫拒絶などの安全性評価が不可欠である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「高血圧と網膜血管所見」の要点を示している。網膜細動脈の狭細化など、全身の血管障害を反映する所見がみられることがある。。網膜血管は直接観察できるため、高血圧性細動脈硬化など全身血管障害の一部を眼底所見として捉えられる。
ウ：「再生医療における幹細胞の分化能」は別の論点である。主な要点は「iPS細胞は体細胞を初期化して得られる多能性幹細胞で、RPEや網膜細胞などへの分化誘導が研究・応用されている。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「Graves眼症の全身疾患との関連」は別の論点である。主な要点は「Graves眼症では眼窩組織の炎症・腫脹により眼球突出、眼瞼後退、複視、眼球運動制限などがみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0141

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「Graves眼症では眼窩組織の炎症・腫脹により眼球突出、眼瞼後退、複視、眼球運動制限などがみられる。」

ア．高血圧と網膜血管所見

イ．再生医療における幹細胞の分化能

ウ．網膜再生医療の目標

エ．Graves眼症の全身疾患との関連

0142

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「ぶどう膜炎はサルコイドーシス、Behçet病、強直性脊椎炎など複数の全身性炎症疾患と関連する。」

ア．再生医療における幹細胞の分化能

イ．再生医療研究の段階と確立治療

ウ．網膜再生医療の目標

エ．全身性自己免疫疾患とぶどう膜炎

答え・解説

正答：エ

ア：「高血圧と網膜血管所見」は別の論点である。主な要点は「網膜血管は直接観察できるため、高血圧性細動脈硬化など全身血管障害の一部を眼底所見として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「再生医療における幹細胞の分化能」は別の論点である。主な要点は「iPS細胞は体細胞を初期化して得られる多能性幹細胞で、RPEや網膜細胞などへの分化誘導が研究・応用されている。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「網膜再生医療の目標」は別の論点である。主な要点は「網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「Graves眼症の全身疾患との関連」の要点を示している。Graves眼症では眼窩組織の炎症・腫脹により眼球突出、眼瞼後退、複視、眼球運動制限などがみられる。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「再生医療における幹細胞の分化能」は別の論点である。主な要点は「iPS細胞は体細胞を初期化して得られる多能性幹細胞で、RPEや網膜細胞などへの分化誘導が研究・応用されている。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「再生医療研究の段階と確立治療」は別の論点である。主な要点は「網膜再生・細胞置換は活発な研究領域で、一部は臨床研究・先進医療に進んでいるが、適応・効果・長期安全性は技術ごとに異なる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「網膜再生医療の目標」は別の論点である。主な要点は「網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「全身性自己免疫疾患とぶどう膜炎」の要点を示している。ぶどう膜炎はサルコイドーシス、Behçet病、強直性脊椎炎など複数の全身性炎症疾患と関連する。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0143

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「多発性硬化症では視神経の脱髄性炎症を生じることがあり、急性視力低下や色覚低下の原因となる。」

ア．多発性硬化症と視神経炎

イ．網膜再生医療の目標

ウ．細胞移植治療の安全性課題

エ．再生医療研究の段階と確立治療

0144

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「乾燥感、異物感、眼表面障害。涙液分泌低下は眼表面の潤滑・防御を損ない、乾燥感・異物感・角結膜上皮障害を生じる。」

ア．再生医療における幹細胞の分化能

イ．自己免疫性乾燥症と眼表面障害

ウ．網膜再生医療の目標

エ．全身血管炎が視神経虚血につながること

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「多発性硬化症と視神経炎」の要点を示している。多発性硬化症では視神経の脱髄性炎症を生じることがあり、急性視力低下や色覚低下の原因となる。

イ：「網膜再生医療の目標」は別の論点である。主な要点は「網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「細胞移植治療の安全性課題」は別の論点である。主な要点は「再生医療では細胞製品の純度・同一性・機能に加え、未分化細胞残存や腫瘍化、免疫拒絶などの安全性評価が不可欠である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「再生医療研究の段階と確立治療」は別の論点である。主な要点は「網膜再生・細胞置換は活発な研究領域で、一部は臨床研究・先進医療に進んでいるが、適応・効果・長期安全性は技術ごとに異なる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「再生医療における幹細胞の分化能」は別の論点である。主な要点は「iPS細胞は体細胞を初期化して得られる多能性幹細胞で、RPEや網膜細胞などへの分化誘導が研究・応用されている。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「自己免疫性乾燥症と眼表面障害」の要点を示している。乾燥感、異物感、眼表面障害。涙液分泌低下は眼表面の潤滑・防御を損ない、乾燥感・異物感・角結膜上皮障害を生じる。

ウ：「網膜再生医療の目標」は別の論点である。主な要点は「網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「全身血管炎が視神経虚血につながること」は別の論点である。主な要点は「巨細胞性動脈炎は短後毛様動脈系などを障害し、急激で高度な視力低下を来す動脈炎性前部虚血性視神経症を起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0145

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「易疲労性の眼瞼下垂・複視と瞳孔温存は、重症筋無力症など神経筋接合部障害を示唆する。」

ア．神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること

イ．網膜再生医療の目標

ウ．細胞移植治療の安全性課題

エ．再生医療研究の段階と確立治療

0146

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「巨細胞性動脈炎は短後毛様動脈系などを障害し、急激で高度な視力低下を来す動脈炎性前部虚血性視神経症を起こし得る。」

ア．網膜再生医療の目標

イ．自己免疫性乾燥症と眼表面障害

ウ．糖尿病と眼合併症の関係

エ．全身血管炎が視神経虚血につながる

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること」の要点を示している。易疲労性の眼瞼下垂・複視と瞳孔温存は、重症筋無力症など神経筋接合部障害を示唆する。

イ：「網膜再生医療の目標」は別の論点である。主な要点は「網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「細胞移植治療の安全性課題」は別の論点である。主な要点は「再生医療では細胞製品の純度・同一性・機能に加え、未分化細胞残存や腫瘍化、免疫拒絶などの安全性評価が不可欠である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「再生医療研究の段階と確立治療」は別の論点である。主な要点は「網膜再生・細胞置換は活発な研究領域で、一部は臨床研究・先進医療に進んでいるが、適応・効果・長期安全性は技術ごとに異なる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「網膜再生医療の目標」は別の論点である。主な要点は「網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「自己免疫性乾燥症と眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液分泌低下は眼表面の潤滑・防御を損ない、乾燥感・異物感・角結膜上皮障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「糖尿病と眼合併症の関係」は別の論点である。主な要点は「糖尿病では網膜血管が障害され、糖尿病網膜症や黄斑浮腫などが生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「全身血管炎が視神経虚血につながる」の要点を示している。巨細胞性動脈炎は短後毛様動脈系などを障害し、急激で高度な視力低下を来す動脈炎性前部虚血性視神経症を起こし得る。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0147

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：基礎

「全身疾患と眼・再生医療」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「iPS細胞は体細胞を初期化して得られる多能性幹細胞で、RPEや網膜細胞などへの分化誘導が研究・応用されている。」

ア．自己免疫性乾燥症と眼表面障害

イ．全身性自己免疫疾患とぶどう膜炎

ウ．再生医療における幹細胞の分化能

エ．高血圧と網膜血管所見

0148

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「失われた網膜細胞を置換・再生し、視覚回路の機能回復を目指す。。網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。」

ア．自己免疫性乾燥症と眼表面障害

イ．神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること

ウ．網膜再生医療の目標

エ．多発性硬化症と視神経炎

答え・解説

正答：ウ

ア：「自己免疫性乾燥症と眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液分泌低下は眼表面の潤滑・防御を損ない、乾燥感・異物感・角結膜上皮障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「全身性自己免疫疾患とぶどう膜炎」は別の論点である。主な要点は「ぶどう膜炎はサルコイドーシス、Behçet病、強直性脊椎炎など複数の全身性炎症疾患と関連する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「再生医療における幹細胞の分化能」の要点を示している。iPS細胞は体細胞を初期化して得られる多能性幹細胞で、RPEや網膜細胞などへの分化誘導が研究・応用されている。

エ：「高血圧と網膜血管所見」は別の論点である。主な要点は「網膜血管は直接観察できるため、高血圧性細動脈硬化など全身血管障害の一部を眼底所見として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「自己免疫性乾燥症と眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液分泌低下は眼表面の潤滑・防御を損ない、乾燥感・異物感・角結膜上皮障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること」は別の論点である。主な要点は「易疲労性の眼瞼下垂・複視と瞳孔温存は、重症筋無力症など神経筋接合部障害を示唆する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「網膜再生医療の目標」の要点を示している。失われた網膜細胞を置換・再生し、視覚回路の機能回復を目指す。。網膜再生では光受容細胞、網膜神経節細胞、RPEなどの細胞置換・再生と、既存回路との機能的統合が重要な目標である。

エ：「多発性硬化症と視神経炎」は別の論点である。主な要点は「多発性硬化症では視神経の脱髄性炎症を生じることがあり、急性視力低下や色覚低下の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0149

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「再生医療では細胞製品の純度・同一性・機能に加え、未分化細胞残存や腫瘍化、免疫拒絶などの安全性評価が不可欠である。」

ア．神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること
イ．高血圧と網膜血管所見
ウ．自己免疫性乾燥症と眼表面障害
エ．細胞移植治療の安全性課題

0150

眼病理・眼と全身 > 全身疾患と眼・再生医療 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「網膜再生・細胞置換は活発な研究領域で、一部は臨床研究・先進医療に進んでいるが、適応・効果・長期安全性は技術ごとに異なる。」

ア．神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること
イ．自己免疫性乾燥症と眼表面障害
ウ．再生医療研究の段階と確立治療
エ．全身性自己免疫疾患とぶどう膜炎

答え・解説

正答：エ

ア：「神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること」は別の論点である。主な要点は「易疲労性の眼瞼下垂・複視と瞳孔温存は、重症筋無力症など神経筋接合部障害を示唆する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「高血圧と網膜血管所見」は別の論点である。主な要点は「網膜血管は直接観察できるため、高血圧性細動脈硬化など全身血管障害の一部を眼底所見として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「自己免疫性乾燥症と眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液分泌低下は眼表面の潤滑・防御を損ない、乾燥感・異物感・角結膜上皮障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「細胞移植治療の安全性課題」の要点を示している。再生医療では細胞製品の純度・同一性・機能に加え、未分化細胞残存や腫瘍化、免疫拒絶などの安全性評価が不可欠である。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「神経筋接合部疾患が眼症状を呈すること」は別の論点である。主な要点は「易疲労性の眼瞼下垂・複視と瞳孔温存は、重症筋無力症など神経筋接合部障害を示唆する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「自己免疫性乾燥症と眼表面障害」は別の論点である。主な要点は「涙液分泌低下は眼表面の潤滑・防御を損ない、乾燥感・異物感・角結膜上皮障害を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「再生医療研究の段階と確立治療」の要点を示している。網膜再生・細胞置換は活発な研究領域で、一部は臨床研究・先進医療に進んでいるが、適応・効果・長期安全性は技術ごとに異なる。
エ：「全身性自己免疫疾患とぶどう膜炎」は別の論点である。主な要点は「ぶどう膜炎はサルコイドーシス、Behçet病、強直性脊椎炎など複数の全身性炎症疾患と関連する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・再生医療」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08